れ居る、太原には無電で通信が出っては二里とり此間に電話が楽設さ

ために強硬(軟整?)

◆・・自分(・・氏)等には繊遊の方案は立派に考べられて居り大多方案は立派に考べられて居り大多方案は立派に考べられて居り大多

▼ ◇…今次の行動に続では自分が 大分間にが四分の責任を負ふ者へ で起ったのである

自分も同意したものである。と共に関

域向する考へである 域向する考へである

平の三ヶ所の内に定められ 識の開催地監は鄭州か石家班 日自由に太原や建安村を往復し
うれ極機は無い、馮氏の祕書は
めい臨鰻(散興?)されて居る

介積の行動

の理安村山麓の山家屋に住つて居今…馮玉祥氏は太原より六十里

土に依り驚成されて

る其大要は左の如くである。
を動かすに至つた関係が親はれ
を動かすに至つた関係が親はれ

を情んで口を極めて國家を私する 整関の敵であると痛悶した、若西 整関の敵であると痛悶した、若西

說を策政交外治内

後職行はれる模様である 機関は引揚を開始し、露支兩軍の である。一方黒河の支那各

たのは工場の放火又は鐡道を破れ、電支交渉が解決することは 1人を釋放することは 1人を釋放することは 1人を釋放することは 1人を釋放することは 1人を釋放することは 1人を釋放することは 1人を探放することは 1人を探放することは 1人を探放することは 1人を表した。

露支紛爭解決まで

テロリは釋放せぬ

ることはできぬ、あつて其の理由ない。

米哈市特別區警察管理處長談

常味の数で粃較、彰徳に駐屯してゐた郷鎮華氏の新編第二、第三時師を前職に出動せしむるが直に大局を左右する重要性に鑑み是非とも競勢を挽回せんと焦慮し新にが直に大局を左右する重要性に鑑み是非とも競勢を挽回せんと焦慮し新に明めて多く今は戦闘力を判滅してゐると送帳へられてゐる、蔣介冠氏は同方面の損失は極めて多く今は戦闘力を判滅してゐると送帳へられてゐる、蔣介召氏は同方面の損失は極めて多く今は戦闘力を判滅してゐると送帳へられてゐる、蔣介召氏は同方面

1、臨縣に二節を配備!豫備縣として洛陽釐陽に一節一混成旅と一旅とがある。中央軍の既に輸送中である。西北軍の兵力は鄭州を目標とする最前線に二個節、登封に一節騎兵一

歌僧を終れば蔣介石氏自ら全軍を督勵して積極的總攻撃を開始、臨縣に二節を配備し豫備縣として常陽潼關に一節一混成旅と一旅とがある、中央軍の無

夢に狭すべく此一週間後の戯詞は非常に注目されてゐる

河川結氷

、「「大」の損失は極めて多く今は職闘力を忠誠してゐると迄傳へられてゐる。蔣州石氏は同力軍が優勢多と「不してゐる、同方敵の中央軍の主力は磨生智軍であつて相當奮闘し軍・が優勢多と「不してゐる、同方敵の中央軍の主力、財」が開始されてより以來今までの「北平特電十日發」去月世四日關海線方蔵にて主力戰が開始されてより以來今までの「

中央軍は新手の配備

週間後

四北兩軍

荻川放談

條約改訂(其二)

を開始 支那飛機示威

【ハルピン特電十日發】支那飛行 露支和平解決の 機會を窺ふ 機は八月午後から九日もへルビン の上空を旋過飛翔し哈爾賓襲撃の 報で動揺せる民心に安心を興へる 観で動揺せる民心に安心を興へる の大空を旋過飛翔し哈爾賓襲撃の であるが未だ一回も飛翔しない

本年後根 本年後根 一二元、100 本材 三元、100 一元、100 一元 100 一元 1

侍立の下に左の親任式が行はれる。『単京十一日愛電』十二月一日の『単二十二月一日の『単二十二月一日の『単二十二月一日の『単二十二月一日の『単二十二月一日の『単二十二月一日の『単二十二月一日の『単二十二月一日の

事とし又像

支那側防備の半面に 哈市支那學生

『奉天特電十一日發』率天順は結 り其防備のため増成しつ」あるが 支那離ではなるべく和平的解決を なさんとする意態で需支続。の機

関連ないであると 原の氏は海拉爾支處長に命じ数重 のるに数し支那健東鐵路數處長 のあるに数し支那健東鐵路數處長 のあるに数し支那健東鐵路數處長 のあるに数し支那健東鐵路數處長 のあるに数し支那健東鐵路數處長 のあるに数し支那健東鐵路數處長 のあるに数し支那健東鐵路數處長 のあるに数し支那健東鐵路數處長 のあるに数し支那健東鐵路數。

仙石總裁旅順訪問

『ハルビン特電十日酸』特別區響 祭管理處長米春霖氏は時局問題と 新色テロリスト検撃に耽き住跡の

市の治安を保持する意味から交前の治安を保持する意味から交通、通信の妨害を計畫せる赤色が名に対したが、六日から七日にわたつては總數八十四名に達し、最近檢學せるものとなる。

秋客計畫 の運動は多数の 多紙及爆彈其他を發見によつて 野艇であつて今後も一層厳重に 開査する方針である、檢攀した 八十四名のうち半数は邊防總司 令部に於て他は管理處に於てそ れが〜私間をしてゐるが、證據 物件が擧げられてゐるのである から罪跡は今更ら陰敵すること から罪跡は今更ら陰敵すること

い、日本及び露國に對する外京と國民黨の政策は衝突する處は 同自動車にて旅順を訪問、同十時浦別班より藤井鰕島剛砂書役を禁御場所砂書役を禁止の一日朝九時星ケ

研究して定める事にし全國代の位置なぞは我政府成立の上

後 後 後 七 二 〇 五 〇 五 〇

〇模造品あり製造元に御注意

支店 大阪南久太郎町木店 東京市神田區鍛冶町九

盤和

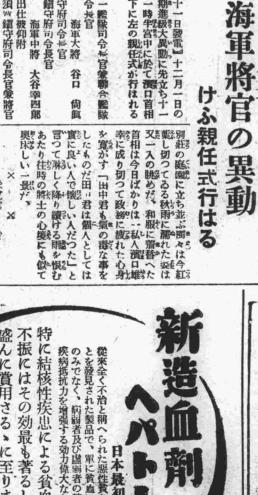
■御申越次第詳細

大氣後和 (十一月十二日) 南西の風 一門曇り 日光四、日後也 七、

南西の風晴れ

料品店にて販賣





では、 東に此機會を得たを喜ぶと共に 会後は我國民とで何も遠慮対象 は要らめ、そうした思ふ處を述 は要らめ、そうした思ふ處を述 を結び付けんとするところに、 と、それに動もすると特殊協打と、それに動もすると特殊協打 棄なんから、其好滅例で、條約で、條約で

は「終る」の誤植 正 八日夕刊本棚一段五行

中谷警務局長東上

圓

日本がそれほど支那に重きをなけない。それが縁に斯う て國民の興潮を政府に緊ぎ、動いでと、膨慢を関保を結び得るはなかがならでは日本を相手に対している。 はないでと、膨慢を関民に示し、以いでと、膨慢を関係を結び得るはないでと、時間を関係を持つに対している。 の基礎を保たんが爲であつて、

は眠中にない、喉頭からんとして関民政府は斯く日本をなり、條約改訂の成否なんか為なり、條約改訂の成否なんか

ばない原因は、支那の情勢が動けられてあるのだが、それの運 ふまでもなく、條約改訂のことに於て、殊に重要融上べきは云となるが、さて其態度 の情勢に願ぜざるべからず、今度に至っては、其時其折り支那度に至っては、其時其折り支那 度公使の闘國で之を定む、

る。知つて之を急ぐには残酷ないて定まらないからで、配も國に改府の其政訴を急ぐこそ矛盾を知である、該政府とて此矛盾を知

新介石の関民政府は、今や四面 整限と云ふ調子である、それも を限と云ふ調子である、それも を限と云ふ調子である、それも ず、夙くも國民政府は内証にず、夙くも國民政府は内証に 新支使は既に南京に赴任せ

特別の國民政府協立を運輸して 北軍間との宣響に外ならぬで、 北軍間との宣響に外ならぬで、 北軍間との宣響に外ならぬで、 後を離れて其喧嘩を眺めつよっ はをを離れて其喧嘩を眺めつよっ 職を控へて、中央地方とも一般に 事業別は民職き緊縮の傾向にある。 ので、工事材料たる砂利セメント 石材等は依然前年に比し相當の不 はないと思はれるも、日間にある。 を齎して政府當局の意識を対 が爲で、これで我國の對支能

要の我へぬ職物も

相當量の増進を

例年に比 し出資越だしく

し出資甚だしく

任の豫定である

分三厘の何れも増率に常る

季節ものとしての心物や弱線を高

大體の關係にて

司令·長官 第一艦隊司令·長官兼聯合艦隊

横須質鎮守府司令長官衆將官軍令部出仕被仰附

奥ないしい

滿鐵職制改正近

下仙石總裁の手許で審議中

令長官 海軍中將 山本 英輔海軍中將 山本 英輔

第二艦隊司令長官

今週中に發表を見ん

安東空地整理

和作世保鎖守府司令長官 一種與要准部司令長官 一種與要准部司令長官 一種與要准部司令長官 一種與要准部司令長官 一個作世保鎖守府司令長官 一個作世保鎖守府司令長官 一個作世保鎖守府司令長官 一個作世保鎖守府司令長官

を 【ハルビン特配十日数】 支那峰等 本歸省するので教育職に入らざるに翻 本歸省するので教育職にて取職に 本歸省するので教育職にて取職に 本歸省するので教育職にて取職に 本歸省するので教育職にて取職に 本歸省するので教育職にて取職に 本歸省するので教育職にて取職に 本歸省するので教育職にて取職に 本歸名するの手紙が子弟の手 一、能ご、師能の各中等聴校以上 一、能ご、師能の各中等聴校以上

蒙古使嗾警戒

黑河の支那各機關引揚を開始

戦

開省学生は約五百餘に達した れと訓戒してゐるが、今日までの

金解禁を控えた 鐵道の出貨豫想 相當不振を免れま

間の緊縮政策、金解禁の断行等で 分の變更を見る位であらうが現内 あるが、其改正は小観歌で止まるては目下似石線裁の決裁を似いでては目下似石線裁の決裁を似いで の收支養算点上にも編成更へなものと如くであるから昭和五年

初冬の旅大道路を自動車にて

一談したが時々観、質問や観察を向「け總裁の頭の冴えを見せて居た

勢農國もをさく、中華民國には劣電支交渉、與太宜郷にかけては

A

雨の日曜を

寝て暮す

上機嫌で休養の

各官廳に新任挨拶

の関係が何んなものかは充分判明 て居り各種の通点は砂書長が起職 今日際官出來ない、間氏は自己 て居る故自分と飽くまで共 である、現在の職局に対

の通電は此等の問題を顕慮と 策は高所大局より考へて之を

市役所に て ※ 本倉戦一司の挨拶を受け、約十分間にて 離美、十一時十分愛醫連の途についたが、 糖繊は大正四年の からためた新市縄方面や、 旅順海 あらためた新市縄方面や、 旅順海

まいたり、いつになく記者感の作のでも、 は、 いって下さい」と愛嬌を振りてあますからどうか遠慮ないのであますからどうか遠慮ない。 いつになく記者感の作のできない。 那に来た。中つかり機動を良くし 類で男を上げ雨の十日を鍛賞の別議で男を上げ雨の十日を鍛賞の別

濱口さん

なり、カフェー件楽問題が昨今なり、グ暗せまれば憂ひははて 職人に乗られ急に日本が職しく なつた悲劇の環ズ人職朝。少しは での不真を思ひ知つたかナマ

> 悪いお 兒樣の唯 お見様や通じの

肥りになれぬ

無二の榮養劑

『とうせ解散。 議長各委員長も全部職品し一擧に 戦略の氣勢だけでも示せ」かの

体顯豫備役被仰付 海軍大將 竹下

左の如く發表されるはず

する竹下大熊及清浦中縣の際合もなは右の親神官競表と同時に勇感

福舞鶴要港部司令官 海河

大觀小觀

特に結核性疾患による貧血及び食慾 盛んに賞用さる・に至りました。 不振にはその効最も著るしく最近 發寶元 東京市日本橋區本町株式田邊元三郎西店

中谷陽東際警務局長は阿片會議出一週間にて本月十五日までには歸地といり五年度繁算の設明要務に大い都京教と 部代表部代表 報を以て氏を睾天鐵道事 **烧居興書** 十 銭 二号天祐 十五銭 六六鋒 宮內省御用達 香華曼精具 鳩 居 堂 以上ノ圖ハ現型二分 廿五銭 内地送料 十二 线 業 (鳩印) ねれ 平安 印 ノー国

御常用トシラ定評アル

五十錢

△第二班(三十名) 第一班に一日 選れて同じく奉天へ ・ 二十日夜奉天へ ・ 二十日夜奉天へ

十九日京城一

ロンコット殿下には、過戦を教堂

トライを得たに難し工大得點

▲運河情景 奉天淀町十一加藤清

奉天鐵道事務所內田畑英

戦となつたが、後半に於て整

ブ女史も拜謁

滿蒙各地

新風物紹介寫眞

應募作品百二十餘點

二等以下入賞者氏名發表

▲ 端州の田舎風景 率天零平町四

▲太子河の

春風景 奉天鐵道事務所 秦風景 奉天鐵道事務所

内田

大連市沙河口大正通

三等〈賞金五圓〉

る漢定であるが、各地の旅程は左 於ける女化及び工製施器を破察す 於ける女化及び工製施器を破察す

が人員日程は未足である

雅科 18 153

3 3 工大

三津木伊藤順津大古長水寺伊栗都井田内福野島山澤島谷見島澤林井田内福野島山澤島谷見島澤林

暹羅皇族に

東京市會に出席せる廿四ケ國代表の萬國工業大會及び世界動力會議の東京に於け

上陸、十七日京城、十八日午後 の如くである 十六日夜釜山

節約デーの宣傳ピラが風にヒラヒ だとの話、翻涂ふと入口を見れば だとの話、翻涂ふと入口を見れば

があるのを小崗子署員が競見し約二百部を没收して抉勝せしめた、三一啓明社にて愛出して居る新暦『中國時意書』より採用的文字、三一啓明社にて愛出して居る新暦『中國時意書』より採用的文字、母年市内各署高等係で頭を懺ます支那種が今年もボッノへ民國十

工業代表等

官のブラジル事情特に邦人の稙民につき御講話を開召された後二時からはブラジルに二十餘年あつた野田外務省一等書記

滿鮮視察

帝、二十日咸興に赴き一泊、二十十日 成南松興水電視察、二十二日京城歸酒同日午後七時二十二日京城歸酒同日午後七時二十

醫大豫科

全滿

高專ラ式蹴球戦

三班に分れて

二等首席入賞作品

四五百圓の置上げも今明日は八千

忘れた買物奥様

けふから來月拂ひと許り

消費組合の大販ひ

はさしめられヘルピンに洗れて来に たがその後父母は死に天涯の孤兄 たがその後父母は死に天涯の孤兄 たがその後父母は死に天涯の孤兄 たがその後父母は死に天涯の孤兄 たがその後父母は死に天涯の孤兄 たがっスキン少年と友達となり大連 まで列車の後につかまり乍ら大連 まで列車の後につかまり乍ら大連

に市中の友人を尋

本人等の願ひを容れた

化粧品組合

現金賣事号 なる 大連化粧品組合では商鐵都費組合 な

ら送遠された、再び會へまいと思たものであるが、アレキサンダーは敬桐丸で日本に渡つたものであるが、アレキサンダーたものであるが、アレキサンダーを発力であるが、アレキサンダーを発売した。

聖上

上御聽取

進講を

特は十は當

支那の新暦に

排日の文字

舉選に就て」なる特別御進講を御騰取あらせられた、更に午博士を召され約一時間に直り博士より「我國に於ける儒學の拜謁傾付けられたる後宮中御娶問所に京都帝大教授狩野直喜【東京十一日愛電】天皇陛下には今朝十時代サイアム皇族に

方法は大要前回と同一で市内圏 所の立番減動に依りて一般民勢 所の立番減動に依りて一般民勢 所の立番減動に依りて一般民勢 所の立番減動に依りて一般民勢 一次で、近江町、春日町、信機町 一次では、近江町、春日町、信機町 一次では、大力車等の取締に當ら を爲さしめ街角に停車してゐる を爲さしめ街角に停車してゐる を爲さしめ街角に停車してゐる を爲さしめ街角に停車してゐる を爲さしがる所。 一次で市内圏

京大の狩野博士から

ボッ

1市場に出る

現金賣制を

昨日から節約デーですか、御婦聞けば

所の婦人華客の小間物屋さんに

貴金屋商の一軒に飛込んでみれば 単の商賣は此二、三年以來全く 上つたりです と同様的が来たと語り離をそむける、丁度御役人、會社員の内はどれもこれも満貫だ、若い溝礦社員の食事時で大な標準の内はどれるのは悪のボーナスの豫想が、女総の殿、そして、

共の商賣に此二、三年以來全く 『をたすべく目下組合に慫慂いで節約デーも何もありません、私 『登組合に黙撓し現金費も分の劇金屬商の一軒に飛込んでみれば 『潜艇合に素撓し現金費も分の劇がよく賣れます 禁しては三分の駒がをなすととに地は舶來物の化粧品が相變らず 禁しては三分の駒がをなすととに地は舶來物の化粧品が相變らず 禁しては三分の駒がをなすととにの影響もありません、特に御當」と脇定の結果、化粧品の現金買にの影響もありません、特に御當」と脇定の結果、化粧品の現金買に

無事を喜び合ふ

送還されて歸る 展りの確實を押して洋服の原價を 安くしようといふので大連輸入組 との間に仕機繋約を結んで損職れ との間に仕機繋約を結んで損職れ に努めるといふ計量は既報の に対してあるが、いよく 具際化し の学服商三十餘野は生産原價の低の学服商三十餘野は生産原價の低度となすべく。大連羅紗商組合も度となすべく。大連羅紗商組合も定に参加せしめ從米背丈の長短に之に参加せしめ從米背丈の長短に た、なほ之と同時に輸入組合加入 た、なほ之と同時に輸入組合加入

放浪の白系少年

けふまた一人日本から

住むに家なく頼るに人のない可憐 つた二少年は水上署の二階で手を あいましいのないの様に ないシャルギーは生れると共に革 た、その無弾無な様子に保官感も あい たがその後父母は死に大涯の孤兄 要りません」と触もホロ、な探渉 た、その無弾無な様子に保官感も あいかい しゅうとし 取録す ここ と で こう として で として で として で として で として で として で と で と の 無事 に き と で と の ま で と で と で で と で と で で と で と で で と で で と で と で で と で と で と で で と と で と ねて行くと云ふ ない。 これものを背近の長短に腹じヤール何程で取別する線改善すれば大連をあるがこの獣度が發達すれば大連をあるがこの獣度が發達すれば大連をした。 とかれこの結果原價に於

交通訓練デ

全署員を三班に分ち

午前九時から午後六時まで

近く實味を見る筈である 地方法院 る 生地と仕立 分業制度に

訴生氏を

取引の確實と安價を 目標にする洋服商

が卒先救済た盛力したるに對し が卒先救済た盛力したるに對し が本先救済を臨ばり大震災に際し女史に す認を賜はり大震災に際し女史に が本先教済を盛力したるに對し

あす實

遠なる御言みを賜けつた

講演ご展覽會

調逸高級ピアノ AUGUST-FORSTER

PIANO

全滿

~ * * > 總代理店

支那人車掌が

を全自民したが十一日附を以て滿 に重つて前記の如く擬領せしことを自民したが十一日附を以て滿 とを自民したが十一日附を以て滿

切符代を 横領隱匿

彩管を揮ひ或は南北満各地を観察を揮び或は南北満各地を観察の長いの場所に置じ先生氏は満線情報課の招聘に置じ先生氏は満線情報課の招聘に置じ先生所は満線情報課の程序に置じ先

※部に決定の優々で奉天支部に於た、 ・ で、 、 で、 ・ で、 、 で 、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で、 、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で、 、 で、 電の宴を張る由 電の宴を張る由 | 丘||風||金|| 素路例曾を來る十三日夜市内若狭町二滿電俱樂部に於て開催す番組は龍田清級佛原鉢
| 大龍坂番外葛城等で冰廳を敷迎する

て目下夫々準備中であると樂部に決定の模様で奉天支

アヲハタ

お道への遮断を便ならしむる方針なは市中の四近二十一ケ所の歩道を呼の見透しを好くし且つ歩道から 撃道への遮断を便ならしむる方針 蜜柑 卸問屋

000七四三二五〇五〇〇〇五五五位 000七四三二五〇五〇〇〇〇五五位 位

大〇〇〇〇〇〇二〇一〇四〇二一〇〇大七六二二八〇八〇四五五〇〇三

升來出に輕手が一レカスイラの上最

日華紡の

大連市浪速町一丁目三番地

から

5

歴を加へ他に飛火する橋標はない 「上海十日愛電」日華紡織浦東工 場は沿鞭き艶楽中で今の爆職工の では中央第部がストライキに弾 かったは中央第部がストライキに弾 表る八日午後六時ごろ香爐礁三春 柳道路において沙河口墨武に志がて沙河口墨武において沙河口墨武に声が、大田で上りは影響を収職べの結果、 とおける吳金融でもを襲った正確では、 における吳金融でもを襲った正確では、 における吳金融でもを襲った正確では、 における吳金融でもででは、 における吳金融でもででは、 一方面を根據として追悼された として音爐。三春柳。 は、 一方面を根據として追悼された。 一方面を根據として追悼された。 一方面を根據として追悼された。 一方面を根據として追悼された。 一方面を根據として追悼された。 一方面を根據として追悼された。 一方面を根據として追悼された。 一方面を根據として追悼された。 一方面を根據として追悼された。 追剝ぎ専門 **辻强盗餘罪**

留 となつて午後四時過ぎ時會した、 となつて午後四時過ぎ時會した、 となつて午後四時過ぎ時會した、 となって午後四時過ぎ時會した、 海ボ、熊川、 都 落のため自殺 働いて居ることを自由した

ニューヨーク 北東では相當知られ リオルダン氏は最近の株式市場の 大瓦落に崩手を負ふたを苦にし本 大瓦落に崩手を負ふたを苦にし本 大瓦落に崩手を負ふたを苦にし本

田波下居田下村武井港島川野野井中離大振久木今行酒未中澄平上今 た人物である 併置の

許否協議

風景 率天鐵道事務所田畑

景 率天橋立町十六高 鐵鮨小學校志田正一

安奉線橋頭菰田 日下間鑑となつて居る遊泳料理店にパー併置に関し高山大連森神谷・大一日間東顕紫春局に出頭して右十二日間東顕紫春局に出頭して右十二日間東顕紫春局に出頭して右

外(記念品贈呈)

日關東廳で

大連老虎離八科理店攤虧推除船門 一八字前十時までの明標やである。二日午前十時までの明標やである。一日午前十時までの明標やである。 大連教がしたので告愛され十一日 大連教がしたので告愛され十一日

三大特長毛メリヤス肌衣

特價提供 2Gp.j

..¥3,50

S 3 ¥450 ¥5.15

S 5..... ¥5.50 4 6.35

..¥5.00 ¥5.75

S 2 ¥4,00

意外に少く百三十餘歐に過ぎず、

とにした

多く総斉選足に非常に苦心を娶し

▲ 法院城外風景 瀬錦鎭道事務所 郷理課水野正利 郷理課水野正利

本溪湖風景 奉天淀町十一

野

線の名勝種識を主題とし、整備的「丁二等五名三等十五名贖興することにした。この結果として騰賞募集中であった寫眞は、沿」一等に該當するものなく已むを得で騰賞募集中であった寫眞は、沿」一等に該當するものなく已むを得

堅 牢 防 縮 防蟲害

許 特三長大 IJ to ス 衣 價

本邦に於けるメリヤス工業の發達に伴ぶ製造技術の進步と、 御用命を顧上げます。 厭はその比でありません。この優良國産品を宣傳の爲特價を以て提供申上げますこと / 致しました。何卒 防縮 防虫害 の三大特長を具備したもので、品質に於て彼の優秀た英國製に遜色たく、價格の低リヤス肌衣が製出されるに至りました。 化學的研究とにより、 本年はじめて全く完全

提 (シャツ・ズボン同値改) 供 いさ下べらくおミ品他度 會 會 御 禮 男 親戚友人一 親城友人 同郎 同勇

弊店獨特の 幣燒大 浪 福 を始めた 電話切流动

昭和四年十一月十日南滿洲鐵道株式會社五日ヨリ十二月十日迄株式名義書換ヲ停止ス當會社定飲第二十條ニ據リ昭和四年十一月廿十日と大大名義書換停止公告

本日神經の結果左記の通り當籤仕 作也 第二十七囘第五次 各組共第七二號 昭和四年十一月十日 大連市浪速町二丁目 大連市浪速町二丁目

各型多數清

チ ユ y 支 一七三〇四山製通四二

・ できるが後に述ぶる であるが後に述ぶる であるが後にがある。それ で 一般 (ついき) 郎竇取品 (以上賞任を で 一般 (以上賞任を で 一般 (以上賞任を で 一般 (以上賞任を で 一般 (以上賞任を を 一般 (以上資任を) (以上社会社) (

芸雑な経

改善問題

結局は四制度に盡く

その利益ご弊害

へに、 ・一般支那人などは裏面に棚 たことが目につく。

新券を發行しないためか或

解観が經費節約の

ないが帝國銀行發行紙幣

な行紙幣の名響

◆…これは朝鮮における米穀資金 及び横洲特産資金の需要増加に よる季節的母家であるが昨今甚 だしく汚損艦線紙幣が多くなつ

◇定期取引《單位鐘》 ※付 高値 安値 大引 源付 高値 安値 大引 源 期 八至 八宝 八宝 八宝 期 近 八五 八宝 八宝 八宝 期 近 八五 八宝 八宝 八宝 期 八至 八宝 八宝 八宝 東 川 本 百八十九萬圓 一十 時 八里 11年0 125至 十一時 八里 11年0 125至 十一時 八里 11年0 125至 十二時 八里 11年0 125至 1250 1250 125至

市營市場

上の問題に少いやうであるの慎重な考慮を要すべく配給技術

震いるものではない、其他の商品に就な商人を起用して當らしめば組織。 の発賞と信用とにより相當の好成 は個人を起用して當らしめば組織。 が関するものと思はれる

意味に於ても奥地諸市場との振物 意味に於ても奥地諸市場との振物

塵

黃

腰して変数で高は の変数で高されて で変数で高されて で変数で高されて で変数であった。

取引金額 1000円 大八四百二 1九、四百二 1九、四百二 1九、四百二 1九、四百二

漫經

畵濟

明和の山崎街道と貫道へてはいかねえ……腐れ線だ昭和の山崎街道と貫道へてはいかねえ……腐れ線だのかとかアレの身の振り方もつけてやらずば、と、「一つの場合」である。

止安高寄

金

海

村料安に ・ 大学に ・ 大学 ・ 大学

開閉の立

数少多

日

の如し(單位圓)

開始されテキサス、アジア、スタ最近満洲に於て石油の大藤翼職が協定値を破る

水產界果然活況

珍らし

い海老の入荷

田十万日以

石油の廉賣戦

H 關 篠崎書記長るり可否を照會し來る 東州を包含する意圖 成行き頗る注目さる 歸 稅 品 域 2

は慰者であるが家質のみは好況を が一の興論となりつムあるが最近 が一の興論となりつムあるが最近 が一の興論となりつムあるが最近 下げすべしと訴訟を提出したが総局 下げすべしと訴訟を提出したが総局 し家主は家明慶を提出したが総局 に對きない、そこで家質値下げた であるが家質のみは好況を であるが最近 に対すべしと訴訟を提出したが総局 に対するという。

一般に軟調

た局を對於値手で近げ

学は深はず閑散なる場面を辿つて ・ 一段と不味を呈し豆粕、豆油共に ・ 一段と不味を呈し豆粕、豆油共に ・ 一段と不味を呈し豆粕、豆油共に ・ 一段と不味を呈し豆粕、豆油共に ・ 一段と不味を呈し豆粕、豆油共に ・ 一般に頻繁

红

濟

壮生

來

宮司は職て一大野神館埋設の批覧を立てたが財界が現で資金が集り

を関れないことに申合せた

市

况

産

銀塊及為替

先中當

させようとの肚裡にあるものよ如く之が可否には今一が選めて開東州を日本の開税區域に包含開税施行によつて無機となし得るものであるが、上京中の範疇氏 見當を唱べてゐるがこれを前月相即ち美学印は箱二維入四個二十錢即ち美学印は箱二維入四個二十錢即ち美学印は箱二維入四個二十錢

南滿製糖

一姓生難

である。である一里の検落

東支沿線穀物

旬末在貨(計月下旬)

公鸦

i0 般

五四三二一十十 月月月月月月

鮮銀との關係が切れねばと

| 1 量 [

11121

曹景 | | | | 西西

満鐵融資を嫌がる

酒するもので成行きは注目を添いてゐる 春物仕入れ 輸組貸付け増加

ては現在の四分配當を減ずる餘地は全然ないものとされ、過數加廉 は全然ないものとされ、過數加廉 等全然減配問題には觸れなかつた 均上配當は据載として域配しない 以上配當は据載くものと觀測され とはは、に置きするにしても内地大會社の とは、に置きするにしても内地大會社の とは、に置きな得てビート製糖を新 無によるを得てビート製糖を新 無に動るを待つて何等か態度を 決せんとするもの」如くで をは、関に又資金を得てビート製糖を新 性で、関に又資金を得てビート製糖を新 もに、関に又資金を得てビート製糖を新 をは、に置きな得でビート製糖を新 右の融資による復活運動は前余製 を対して、此の意味に於て 設落を必要とし、此の意味に於て 設落を必要とし、此の意味に於て 設落を必要とし、此の意味に於て で、対域には、此の意味に於て で、対域には、此の意味に於て で、対域には、此の意味に於て で、対域には、此の意味に於て で、対域には、此の意味に於て で、対域には、此の意味に於て で、対域には、此の意味に於て で、対域には、此の意味に於て で、対域には、かなきもの人如く動られてある

右の融資による復活運動は前途空 の前提として更生するとしてもそ

合現定 株式 山水 新物物

新東

高兴

電燈料値下げ

十月末貸付殘高二百五十萬圓

を全く名のみの存在となったがとより、 り先何等かの方法により同社の を得て地場がから方法により同社の を得て地場がから方法により同社の を得て地場がからたがこと を得て地場がからた。 がは大概準事の鑑賞で興業部で目下 であるが右に記き商工 情務整理に避難して今や

道局に数し貨車五百輛の借入方を と生ずる関れあるので強て朝野銀 を生する関れあるので強て朝野銀 と生ずる関れあるので強て朝野銀 を生ずる関れあるので強て朝野銀 満鐵鮮鐵か 貨車二百輛借入 特産物輸送のため 6

はいる。 はいれても一般に重要でする。 ではいれてはいる。 ではいれてはいる。 では、これでは、一般に重要です。 では、これでは、一般に重要です。 では、これでは、一般に重要です。 でいる。 でい。 でいる。 でい。

北線上軍役割にて支店長會議を開 にれがため十一日午前九時より同 になが午後も緩行の密

五品小緩み

二二 三三五 三三五

式

一日三圓にて二百輛を融通することであり、一番による銀道局では之を歴 とに協定成立した

東西期米崩落

#銀券袋行高
一億圓を突破す
九日現在における鮮銀券袋行稿額
及内容左の如し、単位圓)
を資準備 エニ、ニハ五、五五三
正貨準備 四九、八八九、八〇九

大連輸組役員會 、新規和人者審護の件 一、新規加入者審護の件 一、新規加入者審護の件 一、新規加入者審護の件 一、新規加入者審護の件 一、新規加入者審護の件 一、新規加入者審護の件

今朝北濱短期の大新省十銭高新東 (京) 日本 (京) 日 品東數豆品柄◇前 品

00 EE

家庭用として 日支公司 電話六七四八巻 S. H 卷

満洲總發賣元

PEACE, Nº192 *111111 ◆ ♥ HHS 宫家御採用品 ースストーブ 役发一日一回無煙無見

大阪綿糸 十一月 「大台 「大台 十二月 「大台 「大台 十二月 「大台 「大台 十二月 「大台 「大台 1 大台 「大台 島養相場 15番組比分一 機筋直積 5番出出分一 機筋直積 5番比以分一 前二十十十二百

三二一十十十月月月月月月月

神戸豆粕

限限

三人田商店裝部 大連棋式商品取引人

製成版 名宣先寄豆 **连** 合合合付

至三次大 表言目引

奥地市况(計學)

中します

ラミ モエ亜 元 両三先 ニニーズパス ミーゼニ限

代理店

日本賣藥會社大連支店

株式の郷取引は山田へ

代理店 灰 各百货店、餐萬、大有代理部 京 大木合名 据替大阪二二三七一。 電景士二二三九 据替大阪二二三七一。 電景士二二三九 縣 一次 一次 製 到 都

コリサ

世界的に誇り得る

飲まずに治る サ浸透療法

暖器の解決 本器にあり

覇者は誰!

はど青くなつて、蚯射、やうな を見ると、そこには要向の値十郎 その動力が、これは飲めば飲

「馬鹿にするな、陣上郎のおい、「海の部屋で・勢の男を相手にキャッと、云つてみる奴で……」

様アなんだ。総局お前と俺きりぢめなんのとほざきやがつて、この

- おつねといら女、あれでせう。
が、一郎は今日入ったばかりの新米だ

「意氣地のない奴だっ飲み明かす

「ないでもないぞ」

「親方さんのことだ、此方に否應」 「我方さんのことだ、此方に否應

河合

正宗新九郎王演

御期待の名篇

監督

森田京三郎

三人娘巴白波

の「テへ、また、へえか。手前のへには悪に不氣味なへえだ。だが、他は手前のそこんとこが好きだ、から、魔の海を目の前に見てゐるやうで酸は、――で、話といふなやうで酸なんぢゃつまらないが、あんな陰氣なんぢゃつまらないが、ありか生産があるだらうな」

東亜を背景によき助 展覧 震郎 主演

狗

突如!八日如大公問

一どんな話もなからう。手前には

◇ 本中学 ◇ 一人の父、一人の弟、健か三人の、然も肉親の ◇ 本中学 ◇ 一人の父、一人の弟、健か三人の、然も肉親の家族である。北村小松が描く「望をいだく女性」の一篇は複雑なる縮圏で 自ら語るだに情なき程、父と弟とが除りに瀕りなきにあらず、彼女自ら語るだに情なき程、父と弟とが除りに瀕りなきにあらず、彼女 自ら語るだに情なき程、父と弟とが除りに瀕りる語に、何を惱家族である。池田養信監督、果島すみ子主演、結城一郎、高田稔、龍田 寄枝助演『帝國館上映中』

る陣十郎

瓶子を把つて脇息越に酌いでやれ、

話がしにくい――まあ一杯酌いで「へいか、どうもさう改まれちや

に向れる事しか知らない不良少年 一篇だに涙を滅さなかつた。金櫚 一篇だに涙を滅さなかつた。金櫚

中に喜ぶ人が多からち

浦田行

進

m

国

RR

断然明快である、云はば栗島用の 光」ほどの近代味はないにしても 村小松のシナリオである「彼と×

村小松のシナリオである「彼と×」の北ものとせねばならぬだらう

つなにしろ豊間からおやで大分に

「俺の欲しい

なにが競方……」 なアそんなあばずれ

ら訓めることはせなかつた ◆館で私は新女性鑑のヒロイン ・部分弦に再び働・・・ものである。 生に活て行った「希望」の女性の美しさ を知った、僕は脳かしい話乍ら対然人 た魅力を感じたのである。

ねエぞし

陣十郎、手前照く巫山戦ちやいけ

随十郎の、蝎のやうな唇に、幽 いとこまつてゐるのは幸だつた。 かさくち

かな笑ひがちらと過ぎたら

電賞曹は

映塞界

東西

葉

默

異

香

(166)

の弟から機能を殴られる時にさえ、
の弟から機能を殴られる時にさえ
の弟から機能を吸られる時にさる
の弟から機能を殴られる時にさる
の弟から機能を殴られる時にさえ
の弟から機能を殴られる時にさえ
の弟から機能を吸られる時にさえ
の弟から機能を吸られる時にさえ
の弟から機能を殴られる時にさえ
の弟から機能を吸られる時にさる
の弟から機能を吸られる時にさる
の弟から機能を吸られる時には
の弟から機能を吸られる時になる
の弟から機能を吸られる時になる
の弟から機能を吸られる時になる
の弟から機能を吸られる時になる
の弟から機能能を
の弟から機能を
の弟から、
の弟から機能を
の弟から機能を
の弟から機能を
の弟から機能を
の弟から機能を
の弟から機能を
の弟から機能を
の弟から機能を
の弟からと
の弟から機能を
の弟からと
の弟からと
の弟からと
の弟からと
のまると
の弟からと
のまると
の弟からと
のまると
のまると

由

窯

内

頭

を覺ゑて

知つて頭痛を忘る

ぎ、人々は既柿のやうな鳥を吐いお壁には、海棠が淀んで灯が搖 メをおし切んであるのであらうo だけ眺ひ、雕るだけ雕つた後の疲。 時もたちます。みんななかくよく飲んだやうで……」「飲めねエ奴は仕方がねエの手前と他だ、飲み明かさう」と他だ、飲み明かさう」 幾ら躓いたつて同じことだから止「何故つてこともないが、この上 しませらし 「おや、何故だ」

りは仕方がない。因果ですね」 醉つてゐるのを見るとうらやましくなります。が、どうもこればか で、まあお前はそんな性だつたな が、まあお前はそんな性だつたな

た近い男女が、魚籠を覆へしたや その中に、夏の夜のことだ、裸體

轉がつてゐる。

もとより部屋は杯煎狼籍である

清元宗家の高弟清元延殿松師に師事する大連清元同野者は來る十七日午後一時西公職內南華殿に於て日午後一時西公職內南華殿に於て第一大清元小會開催に決し目下そ第一大清元小會開催に決し目下その研究會である倘當日は顧松師門範間の研究會であるが同好の士の來應。 清元延園松師 清元會開催

▲四季三龍草▲夕立▲神田祭▲ 一種金▲保名▲三千歳▲文屋▲十 総花ダンス界の人気ものが此度見出されて東亜キネマ現代繋部に入れて東亜キネマ現代繋部に入れて東亜キネマ現代繋部に入れて東亜キネマ現代繋部に入り1ンに見るのも遠くはあるまいで印南退監督のもとに出演

◆希望に於ける栗島すみ子の新 のセンチメンタリズムから抜け出 したと云ふことは或る意味に於い て喜ぶ可き傾向ではあるまいか、 | 「希望」に於ける 0

人しくマキノキネマに在つて腕をふるつてみた富澤進太郎監督は今度長瀬に入社し更生の意氣を以つて第一回作品陽線が太郎原作の現代縣「獅つて來た兄」を製作着手。 今年の財産のであっ

RR

日

本 「悲獣の樂聖」と「荒野」をある。 「悲獣の樂聖」と「荒野」をある。 「お演響館と「さんざ時雨」「希 「な演響館と「さんざ時雨」「希 「な演響館と「さんざ時雨」「希 「ながいである」と「荒野」をある。 「ながいである」と「荒野」をある。 「ながいである」と「荒野」をある。 「ながいである」と「荒野」をある。 「ながいである」といづれが勝いた。 「ながいである」と「荒野」をある。 「ながいである」と「荒野」をある。 「ながいである」と「荒野」をある。 「ながいである」と「荒野」をある。 「ながいである」と「だ野」をある。 「ながいである」と「だ野」をある。 「ながいである」と「だ野」をある。 「ながいである」と「だ野」をある。 「ながいである」と「だ野」をある。 「ながいである」と「だ野」をある。 「ながいである」といづれが勝います。 「ながいである」と「だ野」をある。 「ながいである」と「だ野」をある。 「ながいである」と「だ野」をある。 「ながいである」というれが勝いた。 「ながいである」と「ながいである。 たと云へよう▲いづまの館も「夏枯なし」と稱して居 たが認定、素人目にもオヨツ明ら たが認定、素人目にもオヨツ明ら ない。素人目にもオヨツ明ら 秋季超特別大興行 1く。棒に性女き若の世くわまあ 希

ないが、彼女もまた時勢を知つたとはそれ自身稀しいことに違ひことはそれ自身稀しいことに違ひ

向趣いしら新の子み十島栗 のも尺三のり振方久郎二長体 育時 ざん 演助郎太龍根中・子絹水若 b せ合調の朗五部河・郎次傳內河大

持ちよく體

大連市三河町二番地野に一番地野に

切封卷入拾半前内の卷六十三全

毎の見伏羽鳥 卷の天駄章 ②の王章 トスヤキータスルーオ

☆漫連館な名養興行◇

頂影發毒性腫

アート社の愛獣医器に出演の契約であたが謎にトーキーは彼女を誘いて再び映書界へ呼び戻しソノ 歌して再び映書界へ呼び戻しソノ

ローランドは映畵界を入しく引退音連續映畵の女王と諡はれたルス

膨壓館

を得ちかねの を得ちかねの 根岸 東一郎…彌次さん 根岸 東一郎…彌次さん 名優アレッグ・Bフランミス氏主演 ロール・ハシルトラ氏 演

演共

十 目よ (特別與行なりど 松本奏一復礼第二回監督作品) 松本奏一復礼第二回監督作品)

第七人しん 按腹乳をみ其他腰痛手足の痛む御不常下さい でリーダマッサーシあんぶく 大連市美濃町二五電大六八八 大連市美濃町二五電大六八八 富久の時前を そ気か百位 家本木花 潍

下注しはなる。 の生理に依て無深健康の身際となった。 東洋十一のには、大学を持ちる。 東洋十一のには、大学を計ります。 東洋十一のには、大学教教を計ります。 三個五間徳川分拾関砂密が発料が思って、 三個五間徳川分拾関砂密が発料が思って、 一個北花房町山崎帝国党族、 大学教教を計ります。 一個二個 醫西村 金針他其網金 非是ラナエ細

為の網費の仕事が出來且保温の爲め「ラクタ コム製造所

手候は贅沢品ではなく 濟上実用的日用品なり へ温さ業へ自由に仕事が出來ますから ります、家庭用ハナキゴム手袋を使用 の記さ業へ自由に仕事が出來ますから

ン ザ

大連

會

發賣元

京城

朝鮮製藥株式會社



を萬事それから





定

價

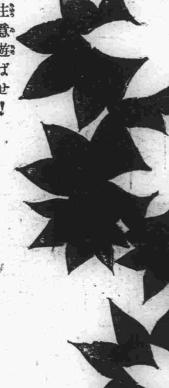
ヘチマクリーム ヘチマコロン 大鶏 ・75 大紙 ・50 中根 ・50 小瓶 ・30 小瓶 ・30 新型 ・45

E













半

行

典辭大本 B 直文 歌三十萬、 1855年、 1955年、 1 文學博士芳賀矢一改修《全一六卷]本美五卷,索引]祭 斯斯特 店書倉大

解禁一 黨の興味あるこの秘史!天下を震憾した日本共産 今秋絶好の讀物 序に曰く 出土讀 視總監閣下 8 0

北 學工思 夫 編 11 著

本社新築落成 月二日移轉

健康と治病を教

Ol- El-

科病院長醫博 小畑惟清

·傳染病。知識 寄生蟲病。常識 病。常識 人病の種々は

慶大教授醫博 一旬配本 川添正

名士の推解(共二) 特典 考となるべき質問回答は 美二

→ 要不金込

郷町一ノ一九二東京市神田區

四三二四〇

反響 一度現品を御覧ください。〆切期 一度現品を御覧ください。〆切期 一度現品を御覧ください。〆切期 を見よ。本篇一度出づるや、滿天 を見よ。本篇一度出づるや、滿天

日本地理風俗大系 海 篇

甲込締切 月十 五日

配本の需に應じます。但品切佛の方は旣刊十册全部取揃へ開いた。 內容見本

儘を活寫し來り無限の興味を覺えしめる。 調真と興味ある本文とにより、其のあるが 調真と興味ある本文とにより、其のあるが 以外で、其隣邦オーストリヤ等所 興國チエコスロバキヤ歐洲唯一の東洋人種 興國チエコスロバキヤ歐洲唯一の東洋人種

H あ 202

到す ながら世界の隅 らず 際にも増 る本文とにより 學界權威者の興味あ **下熱狂第** で見物出來るこの劃 今ス 好機は再び來 回募集の て申込殺 々ま

瓶を常備すべき

家庭用刀非门



家庭用オキシフルは、絶對安全無害 なる家庭用必備品で、右の様な廣い 用途を持つて居ります、必ず其一瓶 を御家庭に…

歯の美白に……非まゝ又はハミガキに落して 口腔の清淨に………うがひ料として 不時の負傷に………應急手當藥さして ひげそり後に……皮膚病療防に、かみそり側に 不快な汗臭に……清拭料さして 着物手巾等の……しみ抜きに

室内空氣の清淨に…噴霧料として 毛織物絹布等の安全な質をいための漂白料をして

其他用金廉汎詳細は設明書を御電下さい

英語通 信 敗 責 授任 ABC が上議會話出来る迄成功保 保五・ジョン、デヴイス 内容郵二銭要非年経験東京西大久 保五・ジョン、デヴイス

支店所在地

資本金 大連市伊勢町六 會殊 Ŧ 萬 頭取 滿 圓 洲

珍奇最新の寫眞と親

しく其地を見聞せる

郑荣屯、吴承、古林、姚顺 / 本美瀬、安東、映庵寺: 参州、、曹晴庆、加子縣、禁山、奉天、小去職、空丰切 軍請(八麦)四一二一番避替(大惠)三 三〇番 井

回新 漢

等直接関係せざる事は明らかであ 等直接関係せざる事は明らかであり、 一等直接関係せざる事は明らかであり、 一方であり今次の戦闘のを動に、 一方であり今次の戦闘のを動に、 一方であり今次の戦闘のを動に、 一方であり今次の戦闘のを動に、 を進めたのであり今次の戦闘のをめに一歩 のであり今次の戦闘のをめに一歩 を進めたのである、斯くて間氏は を進めたのである。斯くて間氏は を進めたのである。斯くて間氏は を進めたのである。斯くて間氏は 上海方面での觀測

人事課で適當の調査を遂げるこ
一、學校卒業生初任級低下(官房の助行(可決)

後低が未決定なるため陸取大演習 原氏の親低式は水町會計機査院長 に内定した間田泉平、水町袈裟六 に内定した間田泉平、水町袈裟六 兩氏の親任式

米收穫豫想 五千八百三十七萬餘石

きのふ農林省發表

犬養總裁を迎

政友會九州大會

大分市で氣勢を揚ぐ

太田長官きのふ 井上藏相と懇談 れたるのみならず、なほ地方によりては早寒病熱等及び十月下旬に 於ける暴風雨の被撃を受けたるも のありしに因るものよ如し、耐し 十三萬七百八十九石(三分二厘) 十三萬七百八十九石(三分二厘) を減少し前五ケ年平域整番に比 すれば六十萬二百二十一石(一

關東廳豫算に關して

大同責任 まり殺せられ西北軍では國氏も亦 より殺せられ西北軍では國力之を否 は東京政府に黙しては極力之を否 は東京政府に黙しては極力之を否 は大原

るから間氏が西北軍をして墨

西北軍便衣隊

ては其程度如何は別として 一、師團數に依る減少並びに裝明 の改正 の改正

南京で陰謀

戒嚴令下に謠言盛ん

出して陝西一際に自己の軍隊を入のま如く、最後の目的は のま如く、最後の目的は

武力職所に出でんとする前提なり がは果であると云はれ少くとも めた結果であると云はれ少くとも

山西軍を 平漢線方面に移

とされてあるが、實際においてはとされてあるが、實際において西北軍 間氏は中央に難しては配司令就任

「大分十一日製電」更生政友會の 地域を可決、元田時顧閲、三土前級 開會床支。元田時顧閲、三土前級 開會床支。元田時顧閲、三土前級 開會床支。元田時顧閲、三土前級 「新七政策の演説を試み大いに野 開金、木下前關東長官其他貴樂時院 相、木下前關東長官其他貴樂時院

軍制改革根本案

方針未だ具體化せず

度を続け戦争は相當に永引くもの を成するまで選氏は依然曖昧の態 が、此の目的を

度を使け戦争は相常に永引くものとする歌方が最も有力観されてるとする歌方が最も有力観されてる

を整整により置した後は特別であるがこれます。 での經験では身置した後は特別であるがこれます。 での経験では身置した後は特別では身置した後は特別では が野を利用して が野を利用して が野を利用して での経験では身置した後は特別では が野を利用して での経験では身置した後は特別であるがこれます。 での経験では身置した後は特別であるがこれます。 である。こは今週中央経過にからず を速かに進展せし過中央経過と制度を がつて、 を連かに進展せし過中央経過と制度を がつて、 を連がいた。 であるがこれます。 であるが、 でするが、 でが、 でするが、 でするが、 でが、 でするが、 でがなが、 でするが、 でがなが、 でがなが、

關東廳の 公債發行額

を裝ひ潜入し



したることあり支那内地の 『ハルピン十一日愛電』

保護命令

蒐集してゐると **極端を計畫既に去月末より動してゐるが、最近の情報**

今度實地に研究した結果

必要判る

右槻軍縮全權曰く

を運んだのは、蒸鐵と云ふ鐵道の なかげであり、又蒸鐵投資の窓鐵

東京十一日設電 3銀道局長倉機第二日は十一日午前十時より鍛道 第二日は十一日午前十時より鍛道

鐵道局長會議

臨時閣議

支那委員の意見を

頭本老反駁

第十信 京都にで 一記者

手マルクス慰者が、無意識を 大つて、資本主義機の一角を攻撃 大つて、資本主義機の一角を攻撃 いがまづ書いて見やう。 一つくと批判するのも大人気な か)山海陽の口さへ守れば平和が あると云つた口部だ、成程。しか あると云つた口部だ、成程。しか あると云つた口部だ、成程。しか あると云つた口部だ、成程。しか

でなからこの移民の増加があつた。が定権移民の作つた物を、鐵道で

きのふ開會

言及す

寛城子長春間に 支那側鐵道敷設

十日から土工々事に

本日廳報を添ふ

田中歌をかかって、大海 では、大海 では、大

◆…徐君-

(人口の増加が満級

二十一ケ條も、支那では大部分を質は無理であつたかも知れぬその

かどつてもよいのですが

具體的事情を知らぬもんだから

れません、しかし事實はか

語と平和はなんと云つても日本の

○ と日麦振郷を融くが、今までそれと日麦振郷を融くが、今までそれ日く二十一ヶ峰、日くでみたではないかの見てあたではないかのである。日は、一十一ヶ峰、日く一十一ヶ峰、日く一十一ヶ峰、日く一十一ヶ峰、日

つとまへからの推移だ)これよ識のおかげのやうに云ふがこれはず

對外

爲替相場

樞府顧問官

政務次官會議

延長の件(右二件留保)

中学講義(録) 株が得られないに個人今回概念 マッカー と 大部省では現 日本各所で設行されてある中機調養 と同様の資格を附與せんとするものである 中央 で と は のである を と は のである を と に な な のである を と に な い と に な ら な と に な い と に な と と に な と に な と と に な と に な と に な と に な と に な と に な と と に な と と と に な と と に な と と と に な と に

明年一月の先物は

四十九ドルを唱ふ

遼寧省出穀禁止

糧食の不足を虞れて

者三百名を職機して之に充てると

引繼了る

〜氣迷ふ

ソン氏は本日常地で演覧して大野・ は戦勢すべきものである」と説き 「世界各域は平和維持のため協力 「世界各域は平和維持のため協力

は會議代表がか」る軍権の一般を競見するために整なる努力を拂ふことを確信してゐる

【東京十一日酸電】繁外線替市場は5寸氣配は稍頻迷ひ期近物の質は金解禁に繋する前途の目標はより状態であるが週明け十一日の寄りが既應であるが週明け十一日の寄りが既應であるが週明け十一日の寄りにおいてはニューョークの繋目と前電に比しの一片州二分の三十一を唱へた然時四八弗四分の三と前電に比しの三以上繁英二志以上を貼へ、先続き四八邦四分の三と前電に比しの三以上繁英二志以上を貼へ、先続き四八邦の三と前電に比しの三以上繁英二志以上を貼へ、先続き四八邦の三と前電に比しの三以上繁英二志以上を貼へ、先続き四八邦に対した。 わが金解禁

米國は好感を以て迎ふ 池田三井銀行常務の歸朝談

百萬元

外相へンダーソン氏が英露園変換 なつた | 大大のワート日發電 | まる五日英 | び市際 | 完全に

共産黨の

抑制不能

で市繁部主席として影めることに で市業部主席として影めることに で市大寺島市政府市長馬線群氏は本日 で前十時より市政府において吳思 家氏より正式に張線を受け十一時 で一次会に了った、吳氏は窓兵司令及 で一次会に了った、吳氏は窓兵司令及 で一方で、吳氏は窓兵司令及

株式は早晩下落する運命にあったのだがコウ急酸に來るとは思たのだがコウ急酸に來るとは思なかつた、然しこのため一般 商工業には影響がないから前途 を悲觀する要はない、なほ歐米 の金利は今日以上に引き下げる 事はあるまいから日本の解禁に は超合がよからう 濱口首相講演

は 【東京十二日愛電』 殿口首相は本 は 【東京十二日愛電』 殿口首相は本 で行ふこと みなつた

檢學テロリ 三百名

でで収扱ふ事になつたが 情報で収扱ふ事になつたが 市場の水産事務を會の手に引上 たのは過数の不祥事件に鑑み又 州内漁業發展の將來を考慮して 大枚五十萬圓四千をかけてやつ 部買収にも非難の際を心配して のる向きあるがソンナー配は別れ 用である、態々會に引上げたの は手敷料など出來るだけ低く して成るだけ低く

露支鮮人のバルチザンを組織

勞農司令官の策謀

の優亂を圖る

督戦隊編成逃亡兵防止の が行ってもこの度は三十萬国の借金をつてもこの度は三十萬国の借金をつくつてみるのであるから之れが返済のすむ迄は現狀維持で行くより仕方ない、早ければ一ヶ年半度すれば好いかとれば一ヶ年半度すれば好いかとも思ふがまる三年位の豫定である、手数料が低減さるれば結局のも、手数料が低減さるれば結局のも、手数料が低減さるれば結局のも、手数料が低減さるれば結局のも、手数料が低減さるの利益が増大する。

院上のため督戦院を編成すること における軍隊中軍規を無難し逃亡 兵職出するにより張郡良氏は之が 兵職出するにより張郡良氏は之が 在滿邦 八は

協力一致が必要

き、慣運研究してからの事ぢなるとよぐ各方面の意見をよ 大連市参事會

旅順へは大正四年に來た 仙石總裁の感想談

大連市総事館は十一日午後二時より り開催され左の頼く顕決して四時 兄玉の上には齋藤、政友會には

二三三後 九〇八明 九〇九四

軍艦は不經濟なものとばかり考べてゐたが全棚とかつて良く研へてゐたが全棚とかつて良く研究して見るとさうとばかりは考究して見るとさうとばかりは考明ファー大統領に會見して軍糾問題に觸れて交渉するかどうかは其時の複線を見てから

海軍問題に

100元 00九 00元 00元 00元 00元 00元

二大四二五六二二十二二〇七七〇〇〇二〇〇

依願免本官

本石本鎖太郎氏(大連市長) 九日

事

後場(出來不申)

包 * 出来不申 日 · 七六〇 · 八四四〇 * 出来不申 · 一七六〇 · 一七六〇 · 一七六〇 · 一七六〇 · 一七六〇 · 一七六〇 · 一十二〇 · 一十二0 · 一十一0 · 一一0 · 一1 ·

滿洲水產會社

水産會に引機ぎ

愈よきのふ限りて

營の目的があるのである

開東廳**群今**(十一日附)

谷田部ケウ子

H 報

が極東路護院の組織を緩承するが はねばならぬ。とまれ満洲問題は得ないであらう、而かもその離園 却つて問題を重要化するものと云得べしとは、恐らくは何人も信じ 以て、調停機闘の設立によりで、が、之によりて満洲問題を解伏 - 脚をふきかけることは當然なるをが、之によりて清洲問題と解伏 - 脚をふきかけることは當然なるをが、支護側委員は

りて、再び熟識考慮さるAであらりて、再び熟識考慮さは富然である。 見もあり、日本にも相當の案があ 見もあり、日本にも相當の案があ りて、再び熟識考慮さるAであら

は、必ずしも無用の業ではない、は、必ずしも無用の業ではない、は、必ずしも無用の業ではない、けしながら、その機關が太平洋問題に限り、日支雨國の委員に一任するの計畫なるかは未だ判期しなするの計畫なるかは未だ判期しないのである。恐らくは英米の委員に一任するが如きことは、婦人どあり得ないと想像さる いづれも全部閉鎖するに至った 邦紡績公司)、ダリバンク等

極東に於ける事態の安定を期し、特別に関して決議したことが、

れらの機関が、何ら調停の途なくて融和し得るものでない、尤もそで融和し得るものでない、尤もその。

見る影もなく競へてなっ

未墾の森林地

(31)

の服装職大工事に施れ從つて多く 「遠陽等」 窓票省政府から入日附 コリカー の服装職大工事を成れば近時省民 では、近時山田地への。道や自動が、近時山田地への。道や自動に在住する日本移民の自動に在住する日本移民の自動に在住する日本移民の自動に在住する日本移民の自動を促すが與って大きな力がある。 では、 は既に三十年前の事であるが、常

の やらに差強いては居なかった、移動質観の低酸なことや、水和樹 は 職や 概花の 熱感に 健事したが、 電に で 民の多くは 田巌に 配置され、 電に で 民の多くは 田巌に 配置され、 電に で は 一覧 を で は 一覧 の の 生活 問題 4 今日の

エートの支那に於ける經濟機關はの緊痛感性機關が形態を開診が過ぎず、これとて最近支那の緊痛感性機關が形態を保つての疾病感性機關が形態を保つて力を可能的に襲略するに至ってソウェートの機關は根本から一掃された、今其の經過を記してみると 国 『ハルピン婦』ソウエート職邦の 東洋經濟進出は一九二四年の奉属 東洋經濟進出は一九二四年の奉属 東洋經濟進出は一九二四年の奉属 東大經濟進出は一九二四年の奉属 東大經濟進出は一九二四年の奉属 東大經濟進出は一九二四年の奉属 北満から一 約三百萬圓に上る損害 新策に関してはソウェート歌邦と一三百萬圓 損失を蒙つてゐると 機関別強に 件本将来の 今回の冬勞農機綱の撤退によりが 經濟機關は 雄基新阿山間 掃さる

吉會線の開通を俟つ

一般回を期すべく一般に馬知方布告と 地回を期すべく一般に馬知方布告と 品を用ひ以て外貨の輸入と利権の 品を用ひ以て外貨の輸入と利権の に の服地は外歯産を愛用するの傾回 い

ツとする醜状 國際都市ハルビン

理等及は 地に重新河から密注の流域 一定 力増加を期待されてあるが、 産 力増加を期待されてあるが、 である、従来で互補担。 である、従来で互補がの流域 一尺三十 である、従来で互補がの流域 一尺三十

銭だったものが、鐵道運搬による

北端の冬を腕る裸ダンスがの水に全の水に入れてある日本人は全く裸地ない――其れが日本のルビン駅として内外、駅へ なかつた日本人にとつては は受合である、婦人の裸態 は受合である、婦人の裸態

日支間のみでたく英本等の介在によりて、日一日重大化され、險悪視されつ、行く事に関し、我が在減邦人の緊御一番を要するのである。

19 書歌 理

交錯してゐる内情に愕くだ様と魔類、乞食と極波ひが

古林の卒業生

性の一部を表現する特異性をお過ぎつけやうとする、脱離を超コロの上に列べてを過ぎつけやうとする、脱離をしていどンの 学でれた外套を小腋に抱へて かっつの見方である。 一足の

ンの代表的作品となるのは、れいピン既として内外、解として内外、解として内外、解して、のが、ないのでは、これが、ないのでは、これが、ないのでは、これが、ないのでは、これが、ないのでは、これが、これが、

店

連

シで味いか、アノ前橋してあるが 等の群が落ちつきのない、最 をなとどりで抹舞してあるが か、アノ前橋してある離け でながったとりで抹舞してあるが が、ほ々しいオーケーで味着。

0

新製品銀

處のドライガソリンであります 今般亞細亞石油株式會社に於て新製品「銀貝」印揮發油の發賣 「銀貝」印は完全燃燒を爲し最大能率を擧げ得る事を保證する を開始した事は揮發油界の一大福音であります 小賣値段 赤貝印揮發油る 金五拾錢安

五. 司

昌 電話二一〇七二番

亞細亞石

る二十日寒谷片配の有志を連れな。 に機震せしむ事になってある、茲 た機震せしむ事になってある、茲 た機震せしむ事になってある、茲 に機震せしむ事になってある。茲

無順の製油工全~竣工した

各團體協力して

普

店

目的を貫徹

經濟緊縮のために

機分割の申込みに過ぎなかったが 更に五射増加して十三軒となり、 更に五射増加して十三軒となり、 更に五射増加して十三軒となり、

日から十二日迄の節約デーは満年に配付した 学灰工場敷地

緊縮會支部

設する處があった。

つてされが戦闘に大戦となつて居

第五回滿日勝

る處があつた

貔子

窩

宣傳文を配付

る

外傷者は 總て支那・ 共産黨の計畫説もある

回の参加商店は左の如く決定した藤飯洋行、永村靴店、成清商會充多洋介、安宅商會、松岡洋行、独屋商店、共進商會立島商店、網屋商店、共進商會立島商店、網屋商店、共進商會立島商店、網屋商店

歴光製造栗県書記は韓浦澤と共に 中日法庫門行自動車で先発職とし 十日法庫門行自動車で先発職とし

大山南坑椿事續報 院中央分館に脱容萬全の手書を加 力調査中である、人命以外の損害 力調査中である、人命以外の損害

へてゐる 大宮屯に現はる

まるで謹 慢デー

成るべく現金にすること日用品 ◆現金竇買の實行 物品の竇買は ・物價の比較研究に努むること ・物質の比較研究に努むること

來る廿日頃創業式

苦心を語る長谷川工場長

主婦達の顔

には國戦数

實行に入る

質行項目の経済緊縮の 館支部平時の實行項目左の は成るべく店舗市場に就き直接 関大すること、商店購賣組合等 関大すること、商店購賣組合等 にでは現金賣に對し相當の割引 を爲すこと の規約貯金又は月掛貯金を職行 すること

欧山すること 第二回旅商團 一日出發す

はまた。 はなる。 はな。 はなる。 はな。 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 は。

しめ、此の高温度酸生瓦斯を育 と共に爐底より吹入れ、酸生爐

(く見受けられた、形臓いて城内方には十一日城内俱樂部に於て午後一時より多數田職の上開催された。形臓いて城内方

統を簡単にいへば、大小幾多の 直着を破碎機で三吋大に碎きエ レベターで爐上のホツバーに没 り、是から自働挿入機に依り連 類的に乾餾筒中に入れ熱瓦斯で 乾餾し残りは漸次経下して瓦斯 要生爐に入る、此の残鹽中にも 局約十%の可燃物を含むので頁 岩一噸常り二百瓩の蒸氣を空氣 と共に爐底より吹入れ、裂生爐 と共に爐底より吹入れ、裂生爐

一、遠足の辨當は贅澤に流れざる 、雑誌繪本類の選擇並に制限を用ひざること 家庭における贈客品は専用品

に付販々と設きて拍手裡に降地午 の必要、衛生思想觀念。貯金聚職 生思想觀念。貯金聚職 中華 の必要、衛生思想觀念。貯金聚職 の必要、衛生思想觀念。貯金聚職

所内に於で施行されたが、開票の が思金三千七百五十圓にて大連伊 相一週間以内に齎手し六十日以内 に完了すると 貨車一輛 瓦房店

粉碎さる

は九日午後二時より地方事物所には九日午後二時より地方事物所に地として實行に入るべき細目十ケ件及び報三項監督したが、たづ善當り當性及び報三項監督したが、之れ透照も十ケのの政事に於て報明での政事に於て報明をしたが、之れ透照を開発での改善に於て報明を表示。

13元为党

孙答大道三二四六卷

大運布液處町三九四三丁回

は日用必需品館易鑑定法に関する合合であった 十五圓を政府に敵権方申出たるに一部長宛復興貯蓄價炭額面金一百三部長宛復興貯蓄價炭額面金一百三 會を組織 山田氏の献金 原 が田巡査に見、舞金 前田巡査に見、舞金 神期陰縣兵は奈良縣長に引率さ 開原守備 ちに修養機本部へ発付献給

話會を催し安藤委員提案の「下級・協議委員書では十一日午後二時かの職場委員會では十一日午後二時かの職会の「おいか」という。

地委月例會

発電の摩擦會を開催すること は米月八日午前十時より同講堂には米月八日午前十時より同講堂に

中國人に對する日本人として

▲ 國島四郎氏(金州民政支譽視學)

★村山增雄氏(內外棉上海工場長)

新任赴任の爲八日午前十一時中新任赴任の爲八日午前十一時中

百一一 五四四四

九十二終りて 日本 十二

地下

豐富

節約デー初日

一土渡邊補機關方五十嵐政男前田喜 での乗込める繁六十一列車は追尾 したるものにて、常時石列車は追尾 したるものにて、常時石列車は追尾 を信號ある爲め進行したるものな 会信號ある爲め進行したるものな るも構内に入りて盆の爲め前方を るも構内に入りて盆の爲め前方を

日

萬五千噸湧出

工業問題は解決

を以てブレッキを使用したるよっならば飛ど蓋や事件と同様の事故をしてブレッキを使用したるよっならば飛ど蓋や事件と同様の事故をしてブレッキを使用したるよった。

高谷田部人で氏は九月栗大連階院に入院中の腐中染極過長野近々退に入院中の腐中染極過長野近々退大地にて大郷を終へ九日夜午後要大連にて大郷を終へ九日夜午後表、大連にて大郷を終へ九日夜午後

車の停車し居るを愛し最善の方法を避せしめたるに、前記二五五列

龜田氏の寄附開原神町 二名の辻强盗

通りかくつた五頭を選挙を を拳銃で射数し四頭を選挙を を拳銃で射数し四頭を選挙的 下方を順ましたが、二名ともアコーンアととしたが、二名ともアコー により公安職出動せるも例によつ ニング拳銃を所持してゐたと急報 により公安職出動せるも例によつ

水

守備隊演習

評あり成績極めて良好であった。 「後一同集合し片山中賦長より講習が實施され午前二時終りを告げた、演習終 なりを告げた、演習終 が関係されて新二時終りを告げた、演習終 が関係されて新二時終りを告げた、演習終 が関係されて新二時終りを告げた、演習終 が関係されて新一時にあった。

本金千圓瓦房店機關區員一同▲ 金五圓本願寺西夫人▲金五圓昭 田ありと

吊慰金

澤幡巡查部長

出ありと出るが今間左肥諸氏の申出あるが今間左肥諸氏の申

に護られば

各地有名薬店にあり

用は禁煙に絕對的有効

定

オゾンと香味の合成作

を興へる煙草を断然巳める事は目下の最大金銭と時間を健費し肉機的にも多くの隠害

實行着手經濟緊縮の 陽 順後者は六千順(最も完全なる事が出来た、前者は一日一萬一

經濟の緊縮は

婦會盛况を極む

去る八日陽東軍經理部大石橋派出

起く寒氣一人なりしが十日朝途に 一般く寒氣一人なりしが十日朝途に

醫院舊館取毀

落花生出盛

 $\substack{ \{5\ 5\ 0\ 2 \\ 6\ 5\ 5\ 7 }$

523

熊岳城

星ヶ浦所 佐業 原所

水稻品評會

來る十六日

先づ臺所から

を勝つて來た、先づ經濟懸縮の 「ないっとあつて十日の節 州に於ても強には國債債還資金との意気は益々高潮する時、我が全の意気は益々高潮する時、我が全の意味は一個人の意味を表 張調 日の初日を期して午後

逢支 若支 山出 縣張 新張 本 店 8546

電話番號 两 部 [9324 營業所 [9601

大タクの

係者も相當多數に上の管であると間支那人脈の出品者其他各農康關

器節調號班

男女两

用

市港場南八幡屋町二丁目五六市港場南八幡屋町二丁目五六 株物に募集 東部ロ県東もへ町町書 東部ロ県東もへ町町書

首全都返金す)

の評好大

出る!



通信 販 賣 《特· 鹽」與 大阪中之島關權· 羅語以佐姆二九五八番 大阪中之島關權· 羅語以佐姆二九五八番 大阪中之島關權· 羅語以佐姆二九五八番 大阪中之島關權· 羅語以佐姆二九五八番 大阪中之島關權· 羅語以佐姆二九五八番 オーバ 茶、霜降、黒ラクダ金廿五圓金卅圓 茶、黒、茶、スコッチ金以近250 圓 ボボン縞金十五圓 ズボン縞金十五圓

熊製品ト談品(カタログ進星) 生徒製作品實費費切

詳細カタログ進星 倉祉オゾン商會

南学日がしい。 一の直ちに實行に入るべく居住民各 一の直ちに實行に入るべく居住民各 一の直ちに實行に入るべく居住民各 定を見、十日の節約デー第一日よる事等につきては鬱滅百田し一同る事等につきては鬱滅百田し一同の別が一般という。 緊縮こ保健の為に 煙斷行 最 新 式 調節裝置附 高 普通丸形一組一園一園宇 二園三圓以上十圓迄マド ロス七曜五十銭と三圓宇

○一四二十十五〇一四六ョーカ 十九五 ●●●
五四四一七三・ホークル 八八六

三四五六七 八九十二三三古五天七大九四年の第三四日の先相先先番湯後唯二氏

で要行の宣傳ビラ及官監外十一種に取る宣傳標語等率並金州が部に於て決定せる監行項目の宣傳文は九日夫れんへ配付を了場上の宣傳文は九日夫れんへ配付を了場上の宣傳文は九日夫れんへ配付を了場合を受ける監行項目の宣傳文は大日夫れんへ配付を了した。 一日夫れんへ配付を了した 一日夫れんへ配付を了した。 一日夫れんへ配付を了した。 一日夫れんへ配付を了した。 一日夫れんへ配付を了した。 一日夫れんへ配付を了した。 一日夫れんへ配付を了した。 一日夫れんへ配付を了した。 一日夫れんへ配付を了した。 一日夫れんへ配付を了した。 一日夫れんで配付を了した。 一日本生選技式試驗。當麼務 に施行されたが受験者は四名で あつた。

服

天

▲團體職(五十射)一等案天(川原 伊藤、宮內、海井戸、小林)(州 中)二等鞍山(州中) 《風人職(十射)一等小川(秦天) (九中)二等海井戸(奉天)(入中) 三等山崎(鞍山)(同)四等龍澤 (同)五等鳥羽(同) 布内某寫實館技師伊田、開部(假名)外一名の三名は十日未明酩酊の上サクラカフエーに來りそこでもピールを飲んでいざ勘定となるや口論となり帳場の女將を毆打するなどの暴行を働き始末に終へぬので遂に係官の厄介となつた

率大消場柔道、劍道兩部では斯道 率大の聯合稽古日と定め來る十三 年の水曜日を第一回として大々的 に稽古を試みることになつたが場 所は察天道場で無週水曜日午後四 時半から開始の筈で多數の出席を 歌迎すると

支人多數から

闘し種々打合せをなす處があつた地方事務所に於て開催され魔制に整天區長會議は十日午後五時から 舍の開校式を擧行した 年前十時からこの程竣工せる新校 年前十日

闘する打合せをなす處あつた人大會の幹部會が開催され時局に九日午後二時から断鸛に於て日本 馬車々體檢査を開始した

会であるものと信じ非常な苦痛を忍が が出をなし始めたが劉はこれで全 吸出をなし始めたが劉はこれで全 のと信じ非常な苦痛を忍が がなのと信じ非常な苦痛を忍が がなのと信じ非常な苦痛を忍が がなるものと信じ非常な苦痛を忍が がなるものと信じ非常な苦痛を忍が がなるとのと信じ非常な苦痛を忍が がなるとのと信じ非常な苦痛を忍が がなるとのと信じ非常な苦痛を忍が がなるとのと信じ非常な苦痛を忍が がなるとのと信じ非常な苦痛を忍が がなるとのと信じ非常な苦痛を忍が がなるというない。

がの跡には背楽を貼りつけ現大洋 というなに、と如何にもまことし をかに説明を加へ更にカブセルに でかに説明を加へ更にカブセルに である。 であるだ。 と如何にもまことし に見せて「これだけ腰部に悪液かっと同コップに注ぎこみそれを劉ッと同コップに注ぎこみそれを劉ッと同コップに注ぎこみそれを劉いと見て別に自分で

九日午後松島町四番地先に徘徊し 地たので奉天譽では八方に手賦中 出たので奉天譽では八方に手賦中 てば衆診するから」と稱しそのま **六元を受取つて「また五日位經** 緊縮實行計畫

Ŧ

残ある模様である

に決定し目下 準備中であるが近く

を申出で赤誠澄れる人々の氏名は九日午前中迄に奉天磐に國庫献金

九日午前中迄の

市政局參事會が 廣告稅徵收可決 日本側の同意疑問

た廣告取締規則である。 となつたのは市業科から提出され となったのは市業科から提出され さによると如何なる廣告――例 合ば紙片をもつてせるもの看板 は勿論のこと、樂隊を先頭に市 は勿論のこと、樂隊を先頭に市 が表演行する廣告職の如きも全 の大変が行する廣告職の如きも全 を通過したが、聚して市會がこれに協致を興へるかどうかが、取して市會がこれに協致を興へるかどうか疑問である、それは都市の發展上最も密接のであるかどうかを開びるを表して合理がのものであるかどうかである。 世級ののものであるかどうかである。 世級ののものであるかどうかである。 世級ののものであるかどうかである。 世級ののものであるかどうかである。 世級ののものであるかどうかである。 世級ののものであるかどうかである。 世級ののものであるかどうかである。 世級ののであるかどうかである。 世級のである。 世級のでは、一般のである。 世級のである。 世級のでは、 世級のでは

(五)

行にて北行蔵家屯郷で安泰線急行に乗換へ東当した

0

便り

説は、患者の影響をなしてるたが は、患者の影響をなしてるたが は、患者の影響をなしてるたが は、患者の影響をなしてるたが

後二時半頃一名の支那人が表戸の市内霞町四番地徐仁爾方に八日午 は役員會を開き々討議した

繭

献金申出相踵ぐ

紳士淑女が匿名で

本月末までには開通するに至るでの数山縣オーバーブリッチは豊夜の数山縣オーバーブリッチは豊夜の数山縣オーバーブリッチは豊夜 陸橋月末竣工

物色いを整瀬中の響官が愛見し逃 地位とする彼を追跡へ格闘の上 連捕したがご奴は安軍縣生れ住所 不定無職組成玉(二四)と稱し両科 四犯を有し容集狙ひの曲者でこれ まで二百餘圓の金品を窃取し飲食 に耽つてゐた事を逐一自白するに 至つた同人は九日支那側に引渡さ 四十一銭となつてゐる

▲ 石本大連市長 十日期來率 ▲ 西村涨南公所長 九日大連へ ▲ 中尾長春署長 十日大連へ 」 大田大連へ 」 大田大連へ (本社支配人) 十日朝氏 十日嫉順へ 東鐵を調査した、支那式豹襲であると贅成した、支那式豹襲であるが、南京に闘逆したの段は根據があると数となったが、南京に闘逆した。 大本数と紅萬字會が聯合し王仁君 で、新中華王國を建設しやうと奔走 してみると支那紙は報じてゐる、 慈善事業も支那では一種の懐疑を が心と云ふものだと

つてゐる外商筋が其の裏臓で糸をお先縁▲東線の東部線が不通で困めれるとコレはしたり「ア ◇ てゐるものがある▲ であるものがある▲ であるものがある▲ であるものがある▲ であるものがある▲ であるものがある▲ であるものがある▲ であるものがある▲ であるものがある▲ であるものがある

9來奉

低命は可として機関は縦少したい のだから露支問題でも日本との 関係も全部中央の命令に服從する なおだと▲露支交渉は勿論平和降 に願つてゐるがロシヤの管準局長 に願ってゐるがロシヤの管準局長 本語の研究が盛んとなつて来た日 東京観が排日をしてゐる中面に日 数京観が排日をしてゐる中面に日 離れたならば乳を失った小孩の如 表高光庭君の東北四省の外変問題 表高光庭君の東北四省の外変問題 表高光庭君の東北四省の外変問題 でである。 一般では乳を失った小孩の如 担造記事も数字を並べ簡繁書にすってみるとある▲ハルピンはニ 産を有する既認を背後に控えてる屋を開業するのだ▲一億萬圓の資 長に任命された筈の顕維鉤君が豆長に任命された筈の顕維鉤君が豆れた筈の顕維鉤君が豆 とサ▲東鐵は五月から約一千萬元(田命は可として欄限は織少したい

先で健康の確保と

良

婦

能率の増進からした

小學武道練習

り来年三月下旬まで武道練習を實 り来年三月下旬まで武道練習を實 ため酸燥正脈の一部を営て木月よ ため酸燥正脈の一部を営て木月よ

数山警察署の調査に依る十月末 邦人戶口調べ

戸五八人 戸五八人 戸五八人 戸五八人 戸五八人 戸五八人 戸五八人 同署管内に於ける沿線の野人居住前月末に比し約二百名増加。然し

胸野の第一ちの痛がな

靈山堂 渡邊輝 烟 筋乳の肉のの高い 振替東京四六〇七番

本店 支店

電話日本橋空管藝東京六〇八

電話南二五振教大阪

緊縮 節約は

いの運動を破活にするので することであります 最も簡単なる健康法は何か 方策は、健康の確保によつて十二分の能率を増進します。 國を撃げて緊縮節約の今日 最も有意義なる緊縮 用は血液の循環旺盛によって一種第の結果生する。 の病勢はその日の中に一掃することで、故に於て と申しますと 疲勞を蓄積しないこと 即ち其日 よつて美事に疲勞を一掃して元氣を回復いたしま る體内の電素を速に體外に排出して 鴨内諸機 妙布」の必要が起つていります 即ち其日の疲労を其日の中に一掃する最も わづか一夜の貼用に 『妙布』の作

適切な樂費であります どうぞ お就寢前に

お忘れなく御貼用を

肩腰のコリ に有ます 発露到る 神いウマチス

40 00

健康な母體からは健康な子供、 七五二歳の樂しさも母體の

健康から

温き血潮の張る健康を齎らす 中將湯は能く婦人諸症を征服

產科婦人科諸博士推獎

子宫病 がし鬱々として氣分が晴れません、月經不順も、 血の道 の御婦人は常に頭痛や眩暈

早く中野湯で真の健康を恢復せられよ

實に不愉快な悲しいこしけも子宮が悪いためです

次の症狀の方は直ぐに召上れ

効 子草病、血の道、ヒステリ



健康の秘訣

殊に寒さは 羅り易いものです 一寸の 油筋 から 冷込んで 婦人病に

せ

中將湯の常用は

明夕に御實行下さい を治療に 強防 に中 將湯の 愛用を 治療に 強防 に中 將湯の 愛用を 治療に 強防 に中 將湯の 愛用を

價 定 州二十六二 五十三日日 日日日日 万分分分分 压多派登五 元元元元角

達備州ツ子が支那水土に渡つてい印象深いものだった。

光づ第一に戻ずるのは日本内地を先づ第一に戻ずるのは日本内地を

を東へくと連れて

汽車は廣漢架しない直離の大平原

ファルトの道をまつしぐらに抜け 自動車は萬國艦を渡ってしまふと

ホテルで今日

着いた許りの神明尚

とか書いて、にぎやかに陳列した 百貨店中原公司には大減價とか何

明早朝には船が出航するので私

お書の繁華さにくらべて。何と称

は今夜から動かない船に乗り込

しなければならない。

女の一行と一緒になってなっかし

様に帽子を取って鳴んだ。

過ぎたと思ふ頃天津に着くのしい大陸的機構がのおひるよ大分

野車は大和ホテルが、側前に止る。 が十分も終たであらうと思はれる である。たしかに新支那の配目

で皆符つてゐましたといは内部り二時間の自由買物の能しが出たの

それから佛祖界の方へ買物に行く

つたつ

皆船中の無事を陥つて下さ

の館をして三々五々連れ立つて思

もずは変の機能聚英和駅間ジイツ ら事は夜の機能聚英和駅間ジイツ

(の買物をするの

を追り離る農夫族、すべて支那ら中を族の様なものを振りながら虫

十月二十日

感ずることである。

「おゝなつかしの北平よ。さらば

嬉しい自由買物に

四辻々々に立つた交通巡査は氣取

五年生 小 松 美

子

天津のみは殆ど洋化された灌洒な水準のみは殆ど洋化された灌洒な

塵埃に、難然として未だ支

で その有難さをしみく 一殿跳して兵警にお別れを告げたのが三時

を 九時過ぎ練明高女の方塗に送られ 中の兵職もとつさり買ひしめて薄 中の兵職もとつさり買ひしめて薄

考へるのは堪らなく不安でしたか

そして交るみ子もはつきりと

は電気に打たれた人の様に立ち上

るみ子のかすかな際にお母さん

パッと

風にふかれて ピョンコー

彌生高女北支那旅行記

モボ・モガの濶歩する

モジなケープを着た脚髪のマダム ニーズ・モボ・モガが調がする。

異國に來ても我々を保護して下さいふ鏡條網等も見せていたよいた

こ時間の後には皆大小さまたしのこ時間の後には皆大小さまたしの

まだ緑色をしたアカシャを植られ

本兵營を影響する。先づ日時、市街見物に出掛ける。先づ日

云ふし、森林のお菓子等を目受けこの店の商品の七點は日本観だと

たのは何だか誇らしく思へたっ

食堂やお風呂場炊事場も案内され

言ふのは、お母さんはダ方か

の音の爲にさまされました。

「母さん」

るみ子の風に取られてゐた心がそ

調子を そろえて

ピョンコー 能が五初六郡 い、お母さんも同じ事を考へてあり血の氣の矢せた頬をみつめなが

のはるみ子にとつても、お母さん

電所で氷を割る音が聞えました でからいで水を割る音が聞えました

したの暴風雨になる事を考へる

めてるます。

ピョンコーしよの

3

るみ子の意識はその間も只おも

に身跡きもしないでるみ子をみつの間もお母さんは化石した人の様

とっても之以上の気なぐさめは

月

な破がたたきつけられ、すきまか

した白い娘をみつめさせられるの

童

謡

め

敏

郎

そして、ちつとるみ子の笑を消

でかつたのです。総館子には少さ

夜に入つても風はやみさらにも

+

年

たのほこりや、紙きれをまひ上ら

風がいけないのかも知れない。

けれどもこの氣味の思い東

ます様にの

何か不思議な奇蹟が現はれ

お母さんの氣やすめな心は、直

枕もとに膝にともなくすがりつきお母さんは眺つてゐるるみ子の

度い様な淋しい心もちで耐りつい

ぐにそういふふうにこはされて行

でるほどの强さで吹き始めたから

なまぬるい東風が、それもみちば

と言ふのは、そのダ方から急に

たからの

自分の病氣の重さを知つてゐまし

とられ勝ちだったのですっか、いとられ勝ちだったのですっか、い

の音よりも自分の容骸の事に氣を ました。それからは、るみ子は風

とまつた時計

話 **\$**

りました。 米袋が溜かく溶けた水りました。 米袋が溜かく溶けた水

「オヂサン

コドモガ コドモ

ムアレハ

ドジンノコ

「モウ

ドジンラ

センスキテイ

大チ

ヤ

タンケ

>

ÿ

ラ

ゥ

チ

(138

「るみ子や、

お母さんはこゝにる

で一杯でした。

オデサンハ 大テヤンノ ユピ

ソレガ

カヘラウレ

コトバニ

大チヤ

ハウヲ

トニッグ

チヒサナ

コヤノナカカラ チョ

それつきりてみ子は殿つて了ひ

四

り風が押し入ららとするためには でした。

使の者は方々にかけつけます。 子の枕もとに訪れました。るみ子 は数々と危險なやらすになります そのうちにも醫者は幾度かるみ

す >

じつぼを そろえて 能が一刻二羽 電信柱の 高いことの

作のよう 能が三羽四羽 あたまをこそろえて

調した焦茶色の布で左右を覆ったさを感じさせられたが、本年は新 園との調和を保つてゐる。 それか 手でないグリーンのカーテンも周のも落ちつきがあつてよく繰り返れ はお祭の屋塞を見るやりな安つば嬢を示してゐた。昨年のステージ

風にゆられて

について私の感じたまゝを書いてそこで先づ例によつて學校觀だけ 少からず効果的であった。 ら昨年のやらな無理なスポッ イトを使はず唯単に普通の電燈で

一等十個、二等五個、三等三個

十二月五日限り

現してゐたのもよかつた。お爺。 たものだけで鬼や狸をうまく表 にいゝ、それから難に醜に強つ歌ひながらの兎のしぐさも非常 「かちかち山」三年三全幕あき

さんの感じを最もよく出してる

「正ちやんのお伽國見物」二年 新年兒童讀物

ら、小栗栖重兵艦はサント

のお爺さんは驚暗な方法でお爺 て能を吹いたりするところお父 さんお母さんたちに大受け、出 て來る人物や動物などの表現は いづれも無理がなくて可、それ から全級の見重を色々の役割で 代ろう、ステージに出すやうにしたのも激師の細心の注意が眺 歌劇である。小さな車掌さんがのにふさはしいかあいらしい唱

生

松林小學校の 如何にも二年生あたりの演ずる



◇何の氣 ◇あの小

職な版の葛藤を構いた大学作品を出場が前との密通を

桁の巻) 一長谷川



惜

(75)

◇咄!チョコレートの通り会は、無難の客に迫られた……(ま

EP

屋間領 店商助金木荒盤 増表ニノー明寺賢久神医東市原大 第五八〇八阪大谷原書 (大)三、場船議会

型けない

各種プラシ並二玩具

製新新雑貨

炯森は素晴らしい勢ひ

で發育し、蕃殖し、内

鑢さん!そんなに苦し

電話 六四一〇番 根 眼

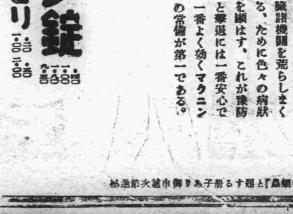
な値目るにい 温感 まアまア黄色いあの僧の色がまアまアまアカッたく真ッ白にしまアまアまったく真ッ白にし

話にあり









世界一の蛔蟲驅除藥へ事實特許

発 チマクランゼリー語 言語

店なども設けられるやうに出來て居り大體に於て三鎚其他の百貨店と同樣の感じを興へるだらう以上に洋品難貨、吳服類其他を陳列し食堂等をも設け最上は夏季中騰凉ルーフとして氷店、緊系來る廿日壌底水移源する皆である、新建物は七階建で地下電は魚際肉類、野菜、食料品等、二階西条頤町に新築中の滿機消費組合は比壁峻成目下内部造作中であるが、既に殆ど出來上つたので西条頤町に新築中の滿機消費組合は比壁峻成目下内部造作中であるが、既に殆ど出來上つたので

近く移轉する消

且つ数ケ所に集脱所を設けて組合ンプを押すことにより信用を高め

安東荒しの

窃盗犯逮捕

寺坂吉衛

明尚田夫人、

成立つ?

7

昨日大連署へ 逢坂町遊廓組合から請願書 市中飲食店と

ルに改めたるものにてホールは 一階客間の延長に過ぎず、交飲 食物は貸壁 映業の 所属 物たるを はつて新規 意楽の 所可を受くる 必要なしと が まするものあり。 での製記者は 登樓客にあらざる 一般客人とを何に依りて 鑑別せんとするや、 登樓客にあらざる 提供したるものを今回階下ホー 双方の申分はコウ

一般客人に難してその入場を抵置し得るや、飲食物を調理を持ちます。 食物にあらず能食物を調理を表するが故に當め、食物にあらず能食物を調理提供差支へなしたの法の根據なし、從つて不可との法の根據なし、從つて不可との法の根據なし、從つて不可との法の根據なし、從つて不可との法の根據なし、從つて不可との法の根據なし、從つて不可との法の根據なし、從つて不可能。 のみに非ず若し夫達坂町遊覧に 目下の不默氣は獨り達坂町遊覧 目下の不默氣は獨り達坂町遊覧

大部分は客の注文の都度仕出し をより取寄するを常とす今茲に をより取寄するを常とす今茲に で、故意に飲食店を開業し得ること」 なる、耐も實務婦がウエートレ なる、耐も實務婦がウエートレ なる、耐も實務婦がウエートレ なり持前の類底を以て客院に で、以なりとす、以上何れの駅と 見るも純然たる飲食店の製業は 見るも純然たる飲食店の製業は 見るも純然たる飲食店の製業は 見るも純然たる飲食店の製業は 見るも純然たる飲食店の製業は 見るも純然たる飲食店の製業は といきものにあらずと思惟する。

型りては以っての外に関係を より見ればや学なる之等を まり見ればや学なる之等を で、対けたり、然るに彼等をウェ で、対けたり、然るに彼等をウェ で、対けたり、然るに彼等をウェ で、対は年期契約にして客席に接せしめ るは一種の製店の製品にして時 が、何とたれば彼等の大部 が、何とたれば彼等の大部 が、何とたれば彼等の大部 が、行いので、第一条版の表 を が、行いので、第一条版での表 を が、行いので、第一条版での表 を が、でウェートレスたる事を ののでウェートレスたる事を ののでウェートレスたる事を ののでウェートレスたる事を ののでのまた。 が、行いので、第一条板町 がでのまた。 が、一条板町 が、でのまた。 が、一条板町 が、でのまた。 が、で、一条板町 が、で、一条板町 が、で、一条板町 が、で、一条板町 が、で、一条板町 が、で、一条板 で、で、一条板 で、一条板 で 一条板 是れ市民が専節機器物部科学財 ・ に向つて製成の大の選択する。 ・ に向って製成の大の選択が、 ・ に向って製成の大の選択が、 ・ に向って製成の大のでは、 ・ に向って製成の大のでは、 ・ に向って製成の大のでは、 ・ に向って製物で加へたる結果な ・ ため他に迷惑を及ばすた。 ・ とれがため他に迷惑を及ばすた。 であるが、一方逢坂町遊郭では之であるが、一方逢坂町遊郭では之

れに観音なくグン人・計量を進め 森正職組合長は大川署に原田保安 森正職組合長は大川署に原田保安

欲するに過ぎず候、因て前陳の

許可申請理由

施設の方法

、室内には卓子並に椅子を配置初とし出入扉を設け街路より透明をなす。表出入口の庭との境別は間仕 營業の方法

じコーヒ、いち宝は應 類するものにして簡単 知するものにして簡単 知子の類より簡易を が、紅茶の類より簡易を でいる。

に隣接せる場 れても異数にが感じ又何時取消されても異数を押して、が脱では試験

合は自發的に撒願し又何時取消されても異議を申し立でないと附言してゐる。この被疾みになつた高してゐる。この被疾みになつた高してゐる。この被疾みになつた高い。 主義で萬事は關東臘の方針に基い 二千代喜家、一富士、大平樂、い柳、喜樂、第一勇糠、大和家、第 事もあり本十二日萩野谷小崗ナで低度を決めると答へた模様であるが、たほ高山大連繋長は特米の

になり、血行をよくし外腺を進れる足薬でのむと生づ胃臓が健全れる足薬でのむと生づ胃臓が健全れる足薬でのむと生づ胃臓が健全れる足薬でのむと生づ胃臓が健全れる足薬でのむと生づ胃臓が健全

リウマチス

神經痛と

とし左の方法により監察仕り度設け館易なる遊興をはすを目的をある遊興をはすを目的

内に於ける所看料の總 所に於ける所看料の總 をして控室に用途せず

思に有之候へ下

曹

布

真結

粗

丁尹

月十日本

大連選択町遊戯が不黒無挽回策とし近代化したパー式のものを併置すべく運動を開始してゐるのに鉄である。と、十一日午後二時山間壁である。と、十一日午後二時山市組合長は大連署に出頭し覚空歌を設定を表した連署に出頭し覚空歌という。

年

既に渦ぎす從つて自家の資帯婦親対するは畢竟客を誘引する手の後に 民に過ぎす

版よるものありとすれば、一般の営業者に比しより以

るに唯逢坂町なるの故を以て現 職の歌歌婦をウェートレスに使 職の歌歌婦をウェートレスに使 職を看過せられ、又は歌歌婦の 前職者を使用許可せらるゝが如 前職者を使用許可せらるゝが如 中營業者に鉄し風紀取締上瓢妓の客人のみにあらず、在來の市 接すると同様差支へなしとの誤な作べ、1階を間に於て登載客に ひ申候、如何に逢坂町と 澤幡部長殺

馬賊團

頭目捕はる

歌を吟歌し同九時感信型に統合して「我等の4本」その他の映像党長は歐州戦の影響数ある中に經濟方面の改革改善に努力る可能を述べして「我等の4本」その他の映像を述べ

書を送付したのであらうと推察し 素仏を質應せん爲めに斯る排日文 素仏を質應せん爲めに斯る排日文

百圃の現品を寄取せしことを自由につけ犯人は聚金優にて滿郷監員にて滿郷監員

の接待者の花

事もあり本十二日萩野谷小崗ナ。

東拾五回營季報告貸借對照表 第拾五回營季報告貸借對照表 (自昭和二年十二月一日)

熊岳城に舞戻り部下二名諸共に

昨暁寢込みを襲はれ

遂に起訴さる藤田好三郎氏

保るもので関東艦の直轄學校だと 関の赤化宜應文書らしく、民政署 量の赤化宜應文書らしく、民政署 はの赤化宜應文書らしく、民政署 では獲信者は受信者たる水師 では獲信者は受信者たる水師

一般的背叛職委員會を開催すると後一時より同社社會課長室に於て後一時より同社社會課長室に於て後の時より同社社會課長室に於て

獎勵委員會満鐵で體育

無免許で入歯

戸口調査で發見

合

これで市民は大喜びである

三00 000 00 三 七五五 00 1 三五 1 回 八四0 20 2 三六・六

瀆職罪にて

れる皆である

著作權に關す

勅令のひ

十一日午前十時東京職員件の た十二日奈良正倉院を採掘御件の た十二日奈良正倉院を採掘御件の

雪を見た 『川形十一日發電』米澤地方に昨

田午後正式に起訴された 日午後正式に起訴された 日午後正式に起訴された

P

チン

大連帯に残政された、なは異はこ 大連帯に残なされた、なは異はこ 大連帯に残なされ際師法達成として 大連帯に残され際師法達成として 大連帯に残され際師法達成として

尿庸

沙皮

器柏

名古屋に潜入し脅迫

の外にも多数患者に入

なは臭はこ

科毒

あるので日下は重取調られてある

埠頭の怪支人

番

米澤地方初雪

德川喜久子姬 母堂と共に西下

喜久子姫は母鸞寶枝子夫人と共に明春御皓儼を擧げさせられる鬱胎

十二月一 本名大正十年四月愛術の歴彰第九 中六號特許選第十六條(帝國外居 村六號特許選第十六條(帝國外居 本年十月一日から闢東州内の全日 本人に適用さる」こと」なったの 本人に適用さる」こと」なったの 日を以て 起訴保留の機千後六時釋放された。

排日文書舞込む水師營公學堂に

東京での神宮競技大會で百米客

高見孃講演

る態を持たい。 では、 このでは、 このでは、

御御手動の御望みかられる。

だけで中國人その他外國人等には 及ばず、從深最も侵害者の多い支 那人等は何等の影響をも蒙らぬこ とゝなるので今回右朝令を以つて 之等を収締ることゝなつたもので ある、實施の上は從來無収納も同 じ州内の特許就其他に一大影響を

及ぼすであらう

消費節約の

講演會

絶えて暫くなかつた採日宣傳文書

飼料の大量仕入れを行つて 大連養鷄組合の企て

新鮮な鷄卵を 安・く・賣・る

二人組强盗 水安街に 電二二三七

自轉車の衝突十日午後

自午後三時三十分自午後三時三十分 昭和四年十一月十二日(火曜日)日午前十一時相場(特産、鏡鈔、株式、各地相場)相場(特産、鏡鈔、株式、各地相場)

高鳥屋源太、高島屋ビ Ξ BURNS LESS FUEL, GIVES MORE HEAT, SPREADS WARMTH, LOOKS BEAUTIFUL AND IS SAFE-THAT IS

を して且つ組合に於て上記の如き器は二萬関係の して且つ組合に於て上記の如き器は二萬関係の して且つ組合に於て上記の如き器は一方の運びに至らないであらず、 ので市家は常

質説にとのるス

VECTO HEATER アメリカンラジエーター會社製 進品型線一報次第 ウエクトヒータ 小住宅贸易器 大連市紀伊町五 率天富士町七 西西關 價(大連艘) 川川原 3C ¥115.00 2-3 商商商 店店店越 5C ¥175.00 3-5

AMERICAN RADIATOR COMPANY

幡 程中 通車電町 洩信市 連大 番九五八四話電 御 酒 (丸屋に上がも迅速にいたし、料理は御註文に應じ出前も迅速にいたし、料理は御註文に應じ出前も迅速にいたし、 會葬御禮 社大社東 總連總京總親 代支代本代戚 父 北栗大佐 岡田 場 勝 青十 邑策郎

座蒲

也圓 九金也錢十三圓七金 供 服。才 價 提

の御製

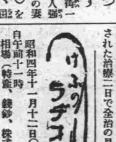
懐中に質札

位の御希望

れ千代田町嗣泰梭王喜山(***)と自 時したが恐らく偽名であらうと尚 同質札は市内各所の質札で何れも 五圓から十圓のもので水上繋では 相當大物と眺んでゐる

同校生徒に神宮大會出場の威想を後一時半より神明高女講堂に於て後一時半より神明高女講堂に於て 十一日午後四時過ぎ人日を憚り一名の苦力態の経漢が4単勝内に入らんとするのを折桃響運中の水上 整巡捕が發見直ちに水響に連行外 を持つたところ懐中より質。

施家、何れにか変を晦ます 一日夜七時代ごろ市内派安衛 一日では直ちに非常 「日本七時代ごろ市内派安衛 一日では直ちに非常 「日本七時代ごろ市内派安衛 一日では直ちに非常 「日本七時代ごろ市内派安衛 一日では直ちに非常 「日本七時代ごろ市内派安衛 一日では直ちに非常 「日本七時代ごろ市内派安衛





東公園町七〇・亜細亜大観社

!それは却つて不孝です

程灯 彩峰電話度價質入凸百值 四通三五電六六六三大連案內社 四通三五電六六六三大連案內社

貸衣 愛騰開

古清

町たじまや電六六番一〇

ホネッギ

之八町濃信市連大

掛の三三三話電

西通電六三五六六三大連案 質金融

洋服頻電費

統後屋鎮在

四9 辻 香川商店 電六七五一不用 品特別品際町通り

高に ライト宮属館電三六八八 ライト宮属館電三六八八 光薬宮園館 電五九八二

魔産分け佛持つ方たんと取り ・ ベルビン 寸 我 里 ・ 横前へ心中の相手な涙 ・ ボイタルBを捨てム耶酸に生き ボイタルBを捨てム耶酸に生き ボイタルBを持つ川柳は諧謔を ・ ボイタルBを持つ川柳は諧謔を ・ がんを関へる句である を持つた川柳の價 に十分に認められるが分析的 で あると云ふ事に と かならない。

寫

寫眞

安那服の準備有日本閣僚

皮 性 淡尿生殖器病 病 海森

高 病 病 病

明鲜野船

町 一萬堂 電七八五九番

本事門のヤナギャスシーセージ特別は 中間の 本事門のヤナギャスシーセージ特別は 本事門のマナギャスシーセージ特別は 本事門のマナギャスシーセージ特別は 本事門のマナギャスシーセージ特別は 本事ののの強性の を表演的によったもの 本書がいる。 本語ののが、 本語ののが、 を表がいる。 本語のが、 、 本語のが、 、 本語のが、 本語のが、

||| 日本部船山帆

善二阮一所

大連三河町二

三近海郵船數出机

堂堂

藥剂師·· 友田莞爾 電話. 6243 卷 大連信濃的市場正門前

乳也法プレー番

を 検が御好みの方は たまり 様が御好みの方は なん 病 嫌いり 乗事門療院

賃家 播解町一一九上八二八三 **賃家** 初客町眺望日常良二階建 大道風呂付電表生岩代町錦江亭 大道風呂付電表生岩代町錦江亭

署井前費寮

性病。報學下海

阪庸病

■阿波共同汽船

大連市吉野町二五

野中醫院

大資析浪速町持田順天堂

鍼灸 あんま

鏖

大山通 (日本橋近) 吉野 製 大山通(日本橋近) 吉野 製 大山通(日本橋近) 吉野 製 大山通(日本橋近) 吉野 製 大山通(日本橋近) 吉野 製 サーバス・大山道 日本タイプライター印書 小林又七支店

けることも御座 と、彼女は英樹 ち上つた。

職・一般では、英雄がそのま、英太氏のですれば、英太氏は年前の権ろしいできを世に晒さずにすむのである。英というないですないですなのである。英雄が、父親の遺志に背き、後文子に動いてするの遺志に背き、後文子に対して、といいのですなの遺志に背き、後文子に対して、といいの遺志に背き、後文子に対して、といいの遺志に背き、後文子に対して、といいの遺志に背き、後文子に対して、といいの遺志に背き、後文子に対している。

も、此方には大いにある

、英糖の言葉は、倭文子を打ち伸っ、後日耐能が趣ると同常だと思って、焼き葉でしまつたんだ!」 では、ところがお生情とねるの遺醫はもう無いのだよ!」 英輔は定うそぶいた。 の気が消え失せた。 れはほんとうですか?」 と、倭文子は喘いだ「あなた、 さらですか、ではもら申上 彼女は英幅の前を力無く立 動からは血

A

「佛」 管口片岡四迷十選 川柳バイタルBの句 大連 不 真 大連 不 真

貸間 貸間

質な方に貸し度し 独名 在 社

電ル七三七

中乳 たら大正牧場 伊勢町八九電七七七二、九四八四 伊勢町八九電七七七二、九四八四 藥及治療

中央 大連劇場隣根本楽局電ビス六二 大連劇場隣根本楽局電ビス六二 大連劇場隣根本楽局電ビス六二

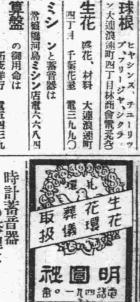
科器床淡毒梅康皮

電話 瓜利金融 医超压力

質 流質品 安東· 大口:特·勉強·

無病。睾丸。陽面。序疾。健電質斯 が動作視速町五丁月二百一番 家ソノへ門がた。 管際、神経所、関気。 大頭市視速町五丁月二百一番 家・神経所、関気。 大頭市視速町五丁月二百一番 傳家お

大連市伊勢が(日本機計) た 野話三四七五番



小寿藥局

ばめ飲

14

●北米シャトル、タコー

区大阪商船出帆

特專

許賣

耐

寒防

●天津庁、貴州丸 入製中 天津盗溯紙(武昌丸・10-11 一瞬 覆 直 庁、貴州丸 入製中 年後三時出机 河南丸 +12-12 大阪高船(武昌丸 +12-12 大阪高船(武昌山 +12-12 大阪高田(武昌山 +12-12 大阪西路(武昌山 +12-12 大阪西路(武田 +12-12 大阪西田 +12-12 大阪西田(武田 +12-12 大阪田 +12-12 大阪西田(武田 +1

御身

長

鬼綾サ

じ

水。香:能:萬な寶:重: ٢ フラー 1 枕沿掛 (物性無視・動物・機能をはある) (化粧無視・動物・機能をはある) (ミッワ花の学)

自由原見九 京東 日本総石タテモ〇

頭豫防 雲脂除

飲ぐ 毛糸、 毛織物、 からざる必 絹物の洗 需品 75 濯 4)

For All Fine

其他多物吳服類新荷着致して居りますから何卒御一覧下さい正札 け 狐 豹 白熊 貂 瀬 各種正札 け 狐 豹 _ 洪來盛吳服店 六八·六二六九

ませ

新 装 簡

最大御身長 二一八〇 以下各種

四三〇 Ŧi. 五尺六寸 服 以下各 寸

238 844

(A)

● 三行二回金八拾五銭 ● 五行二回金屬國五拾銭 ● 五行二回金屬國五拾銭 ● 世名在社は一回金贰拾銭増

満

案内

倭女子は言葉を盡して哀願する

世知復一山種

る ると、英鵬はふょんと難の先に嗤 きゃいて、指にはさんでゐた薬 の文明にはひると、倭女子は片順 の文明にはひると、倭女子は片順 を悪いて、指にはさんでゐた薬 の文明にはひると、倭女子は片順 を さ、世の中の朝りなさ、それが今 は道つて來た。

内弟 子入用 採用外務計画会 而申込あれ 姓名在社 ・姓名在社

羽衣美姓院

市古 に

五丁目二三大連樂鈴名

電五四三

に!あれが嬢さ寒られたとしたらに!あれが嬢さ寒られたとしたら 社員 招聘問品給支給

邦文 タイピスト短期豪成

牛乳

大連牛乳株式會社 電話四五三七番 シン

電空管サイモトロールル、一二一成 ガーミシンは常盤猫

ラデオは何でも

電字 決成教授量で 三河町 単内 電八六島丘 三河町 単内 電八六島丘 日支英米事質特許 単元 日支英米事質特許

重

富 は現広西・孫盤常・通西連大 春八二五七記を

実確 正

が東気脚ヶ二東漢 番タマケミ諸電 裁助中田…師剤薬

前司公記政 地雷工工通部监 東島荷名教店(大連市伊勢町が川口切符勢質所 大連市伊勢町が川口切符勢質所 大連市伊勢町が川口切符勢質所 大連市伊勢町で大山連り切符勢質所電北三五五四番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番電話上三一五一番

医 政記 輪船出帆

電話四一四一號

· 院医原桐

一九二四話電

全 島谷汽船連出帆

参り 水の用途に適する様に製造されて持ります。本品はミツワ家庭無中の鏡串液と滑んど其外 ヘーア ローシ

毛を防ぎ毛髪の残育を助く 等の後、素削配後、其他助 等の後、素削配後、其他助 を、急性熱病、鞭き豪を を、急性熱病、鞭き豪を

ヨン(ミック形の形)

る其大要は左の如くである。 を動かすに至つた関係、類はれ を動かすに至つた関係、類はれ

で際に冗談交りに高談で愉快に話 した、選問所氏の住居は蹴重に兵 上に依り響或されて居るが、外間 はなっているが、外間

◆…新政府成立後は全國代表大 を解決する者へである、銀に選氏 を解決する者へである、銀に選氏 が突誘して時局問題に就いて意見 が突続したが、選氏は外交問題の地

蔣氏の態度を非難してるた 失戦と戦事編遣の心へ平を数へて 大戦と戦事編遣の心へ平を数へて

難安村山麓の山家屋に住つて居◆…馮玉禄氏は太原より六十哩

を使験して海拉爾襲撃の作戦を優して海拉爾襲撃の作戦を優れば、電車は線に蒙古戦をあるが、電車は線に蒙古戦をあるない。

露支紛爭解決まで

テロリは釋放せぬ

米哈市特別區警察管理處長談

世界の耐寒藥

荻川放談

0

と連絡するが如き大脚 がか、著し、 と連絡するが如き大脚 がかる

勝敗の前の

條約改訂(其二)

單

中央軍は新手の配備終 積極的總攻擊 り次第 を開始

によっている。 「大局を左右する重要性に鑑み是非とも競勢を拠回せんと焦慮し新に海北から取が直に大局を左右する重要性に鑑み是非とも競勢を拠回せんと焦慮し新に海北から取り、「大局を左右する重要性に鑑み是非とも競勢を拠回せんと焦慮し新に海北から取り、「大局を左右する重要性に鑑み是非とも競勢を拠回せんと焦慮し新に海北から取り、「大局を左右する重要性に鑑み是非とも競勢を拠回せんと焦慮し新に海北から取り、「大局を左右する重要性に鑑み是非とも競勢を拠回せんと焦慮し新に海北から取り、「大局を左右する。」 同方配の中央軍の主力は唐生智軍であつて相當機関してゐるが、そ軍が優別を開始されてより以來今までの一般況は西北 懈を終れば蔣介石氏自ら全軍を督勵して積極的總攻撃を開始し無態な縣に二節を賦備し豫備隊として洛陽潼關に一節一混成旅と一旅とがある、中央軍の新手が前 |備二張備隊として洛陽蘆繍に一節一混成旅と一旅とがある、中央軍の新手が前線| |西北軍の兵力は甌州を目標とする最前線に二個師、登封に一師騎兵一師、混成旅

國境の

『泰天特電十二日酸』率天戦は総 大郷に際し露軍の種優的行動を慮 なさんとする意響で需支接近の機 なさんとする意響で需支接近の機

蒙古使嗾警戒

黑河の支那各機關引揚を開始 戦

震戦行はれる機様である機関は登場を開始し、露支剛軍の機関は登場を開始し、露支剛軍の

たのは工場の放火又は鍛道を破れ、露支交渉が解決することにあった、逮捕した 型力を解放することは であった、逮捕した であった、逮捕した

スーが露支紛等を利用し内蒙古の が立を計量中であると爆へられて が立を計量中であると爆へられて があるに難し支那態東線姿態處長張 あるに難し支那態東線姿態處長張 あるに難し支那態東線姿態處長張

ではいては色々世上には風歌が ならない、然し多防のために約 五百名の骨員をした東支問題の 五百名の骨員をした東支問題の 本では、然し多防のために約 に就いては色々世上には風歌が で、『東京十日發電』銀道省運輸局の 本月中に於ける出貨業想は秩多出 を本年九月の輸送成績は動前年三 で入り一米秋肥料を始め、石炭、 に入り一米秋肥料を始め、石炭、 に入り一米秋肥料を始め、石炭、 金解禁を控えた 鐵道の出貨豫想 相當不振を免れま

赤色テロリスト総響に飲き住跡の 察管理處長米春駅氏は時局間題と

一 名機に就いて自分は「数民軍」或は「你民軍」が好いと主張したがは「教民軍」が好いと主張したが現場には「國民軍」が好いと力酸したがでいる力酸したがする。 政権は でいての行動は「國民軍」の行動は「国民政権」の の関係が何んなものかは充分判明 策は高所大局より考へて之が て居る故自分と飽くまで世間一主義であり同一の信仰 と國民黨の政策は衝突する 軍の解劣多寡は明答し、現在の職局

研究して定める事にし

では二里とり此間に電話が架散さ、やう方梅線は無い、馬る、其場かい間氏の居る河邊州ま「ために監視へ散禁?」

月月由に太原や鍵安村を柱復しりた複線は無い、悪氏の秘書はめに監練(観察?)されて居る

◆…自分〈…氏〉等には鑑賞の 方数は立派…若へられて居り大多 数の各部除將銀とは充分の打合せ 数の各部除將銀とは充分の打合せ が出来て居る、園氏も此方彩に就 では養成を表して居る、同時に全 では養成を表して居る、同時に全 である。

で起ったのである。 であったのである。 であったのである。

「宣傳や農・商やポスタ」

職の開催地監は郊州か石

平の三ヶ所の内に定めら

海氏で非常に海介社の行動

太原には無常で通信が出

自分も同意したものである。 表したものである、と共に

(十一月十二日) 一世級り (十一月十二日)

後後 七二〇

氣豫報

南西の風晴れ

したものである故に自分と鑑氏としたものである故に自分と鑑氏とも誤解を求めた上通電し

物價の下落は當然豫想されるため物價の下落は當然豫想されるため あるが、其改正は小範疇の機能改正、人事星の機能改正、人事星の の敗支豫算無上にも編成形ものゝ如くであるから昭和 今日際試出來ない、閻氏は 閣の緊縮政策、金解禁の際 いふ大袈裟なものでなく 人事異能 につい

仙石總裁旅順訪問

大觀小觀

初冬の旅大道路を自動車にて

談したが時々鏡 質問や観察を向しけ總裁の頭の好えを見せて居た

各官廳に新任挨拶

同自蘇軍にて旅順を訪し、同十時間別班より藤井鍛島南砂書役を際

を交はし、各談長の挨拶を受け、 にて長官代理神田内務局長と挨拶。



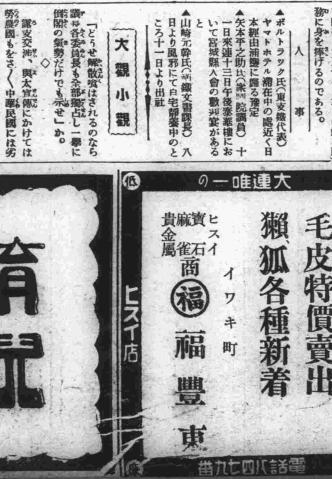
領算閣器を了へ 上機嫌で休養の

雨の日曜を 寝て暮ず

濱口さん

選生達の演説は整くも請所者の 演説よりは推辯であつたと聴動の

型の不真。思ひ知ったかナ9 とはなった悲劇の調夫人師朝、少しはなった悲劇の調夫人師朝、少しは の話題、夕暗せまれば憂ひははて遊戦、カフェー併業問題が昨今



は、日子後から九日もヘルピンの上交を旋廻飛翔し哈爾賓襲撃のの上交を旋廻飛翔し哈爾賓襲撃ので変して安心を興へる。 へてゐるが未だ一回も飛翔しない 避難歸省 ので、工事が終たる砂利セメント
ので、工事が終たる砂利セメント
ので、工事が終たる砂利セメント
ので、工事が終たる砂利セメント
ので、工事が終たる砂利セメント
ので、工事が終たる砂利セメント
ので、工事が終たる砂利セメント
ので、工事が終たる砂利セメント
ので、工事が終たる砂利セメント
相當の活躍を期し得べく、また益
の出質に繋がるとしての一般の関連と概定したが、石は本年九
を来すであらう事は、最近の出質。
ので、工事が終たる砂利セメント
も活無を加え、其の他一般の骨進
れて居る新穀の出現戦増に伴ふて
相當の活躍を期し得べく、また益
線の出質に繋がして十一月中に於ける全
線の出質に繋がして十一月中に於ける全
線の出質に繋がして十一月中に於ける全
がら推察して十一月中に於ける全
様の出質に繋がして十一月中に於ける全
がら推察して十一月中に於ける全
がら指案して十一月中に於ける全
がら地変の関係にて 制改正近

支那飛機示威

【ハルビン特電十日設】支那飛行

露支和平解決の

機會を窺ふ

支那側防備の半面に

既にて皺改正家を檢討しつい 理事の手によって いては大 今週中に發表を見ん

昇に殆ど影響無し 動小範圍 取となるが其酸表も或は本週内に 関臘に屈出で諒軟を得て酸表の数 の数となるが其酸表も或は本週内に

闘省學生は約五百餘に達しれと凱武してゐるが、今日

佐顯豫備役被仰付 海軍大將 竹下

安東空地整理

舞鶴要港部司令 長官

補佐世保鎭守府司令長官 する竹下大勝及清油中野の暗合もなは石の親補官發表と同時に剪退 左の如く發表されるはず

▲山崎元幹氏(新鑛文書課長) ころ十一日より出社

毛皮特價賣出 信用ある

盛んに賞用さる、に至りました。不振にはその効最も著るしく最近特に結核性疾患による貧血及び食慾 設實元 東京市日本橋岡本町徐武田總元三郎商店

海軍將官 の異動 低の豫定である

特立の下に左の親伝式が行はれる日午後一時半宮中に於て護口首相将軍定期進級大異動に先立ち十一海軍定期進級大異動に先立ち十一 第一艦隊司令4官樂聯合艦隊

けふ親任式行はる

べて、支那國民の酷驚を促すべは要らぬ、そうした思ふ處を述

では「終る」の誤権 る」は「終る」の誤権

て國民の興卑を政制に駆ぎ、動いぞと、職威を國民に示し、以いぞと、職威を國民に示し、以 日本がそれほど支那に重きをなの基礎を保たんが爲であつて、 したことに見出さるるは迷惑ですは離有いが、それが常に斯う

田本を相手に

は脱中にない、陰野からんとした。係利改訂の成否なんかめなり、條利改訂の成否なんかは、無理酸酶を強らんが爲めなり、條利改訂の成否なんか

特での國民政府協立を準備して ・ 地電間との喧嘩に外ならぬで、 ・ 地電間との喧嘩に外ならぬで、 ・ 地電間との喧嘩に外ならぬで、

を齎して政府常局の意思

が爲で、これで我國の歌

海外石の國民政府は、今や四面 連度びの河南抗野も此軍階と四 が近を中心とする軍階に化した 形式を中心とする軍階に化した が近を中心とする軍階に化した

日支の條数政前は、もう手を着けられてある。然政所とて此矛盾を知である、総政所とて此矛盾を知である。総政所とて此矛盾を知である、総政所とて此矛盾を知る、知つて之を急ぐには逃亡ない。 是は之れ在り、此國是に基く歴 とは之れ在り、此國是に基く歴 とは之れ在り、此國是に基く歴 となるが、さて其態度 に於て、際に重要動すべきは云 に於て、際に重要動すべきは云 に於て、際に重要動すべきは云

例年に比 し出資語だしく が記述る前年十一月に難しては四分 分に厘の河れも増率に當る 今は目別出貨費規順数 本年後想 前年實蹟 本年後想 前年實蹟 本年後想 前年實蹟 本年後想 前年實蹟 本年後想 前年實蹟 124、700 124、757 一元次、700 124、757 124、757 125、700 115、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125、125 125

無軍大將 谷口 倫真 東鎮守府司令長官 東鎮守府司令長官 東鎮守府司令長官 東軍中將 大谷幸四郎 海軍中將 大谷幸四郎 海軍中将 大谷幸四郎

目下仙石總裁の手許で審議中

佐世保銀守府司令長官

玉崗 国 「首相は近來飲食」 です」と言べば競から例のピスト です」と言べば競から例のピスト と金解禁の偶像であるライオン首 相も騙さへ爬る様だもの肥るのは した質いだ一日を別数に強りであるライオン首 です」と素々を入れる、から です」と言べば競から例のピスト に変したであるライオン首 のであるライオン首 務に身を捧げるのである。

一週間にて本月廿五日までには勝乗の戦明五年度豫算の戦明要務と 以上ノ圖ハ現型二分ノ級居具書十 銭 (櫻 印 二号天祐 十五銭 六六鋒 宮內省御用達 香華風槍其 傷 居 堂 廿五銭 (櫻印) (鳩旦) わえ Į. ノー園 变 五十錢

報を以て氏を率天鐵道事

用トレラ定評アル

部代表在鐵道

レオツルマ お肥りになれぬ 支店店 悪いお見樣の唯 **全性**和 無二の榮養劑 ▲全國著名藥店食

大阪南外太郎町九東京市神田區銀冶町九

様の緊縮。策か、平常一Hに二千 差別かれてわけで茲許賢明なる奥 を明かれておけて茲許賢明なる奥

最後に見玉町の端線消費組合が配 ラ紙にかいつてるた 無であるがよっぱ、今日は今月 が脚定総切後の十一日ですから數 日前から様職へたお客様でこんな に繋出するのです、との話、成型 大連化粧品組合では満鐵消費 大連化粧品組合では一組合

大連化粧品組合では満鐵消費組合「ら送還された、再び會へまいと思近く草子高」も一里一日人港の薬桐丸で神戸かれているが、アレキサンダー 現金賣割弓 支那の新暦に に流れ込み、一人は天平丸でアレ まで列車の後につかまり乍ら大連 まで列車の後につかまり乍ら大連 キサンダーは豪桐丸で日本に渡つに流れ込み、一人は天平丸でアレ

があるのを小崗子鸚鵡が競見し約二百番を沙牧して抉削せしめた。一窓明社にて賈田して居る新暦「中國時窓書」より排日的文字、三一窓明社にて賈田して居る新暦「中國時窓書」より排日的文字、毎年市内各署高等係で頭を懈ます支那種が今年もボッノく民勇士 排日の文字 ボッ 1市場に出る

上業代表等 滿鮮視察 三班に分れて

二等首席入賞作品

於ける文化及び工製施設を聴察す 分れて鮮満旅行の途に上り各地に 者五百名のうち百十三名は三班に 東京市館に出席せる廿四ヶ國代表。高國四工業大館及び世界動力會議 る確定であるが、各地の旅程は左

本第三班B(十五名) 中九日京城 ・二十日夜奉天へ ・一十五名) 十九日京城 ・二十日夜奉天へ ・一十五名) 十九日京城 七日京城、十八日午後二十名) 十六日夜釜山 暹羅皇族に

ロンコット版下には、過数条我を ブ女史も拜謁

満蒙各地の

ることを條件としたために際夢敷 一等で賞金十五厘) たるよりも新聞紙上の挪威に適す とにした。この結果として職賞卵集中であつた寫眞は、沿 一等に該當するものなく已むを得職て確繁各地の新風物紹介の意味 することにした。この結果として

奉天稻葉町六中根

多く権養選定に非常に苦心を娶ししかも弱寒性的にべ合にざるもの

太子河の朝郡の東京

高松宮殿下腰補肥念と大連郡 大浦鳴鶴盛八八田中義夫 大浦鳴鶴盛八八田中義夫

新風物紹介寫眞

西海野洲 西海野洲 補州の田舎風景・奉天琴平町四

→陳相屯風景 奉天子 ▲太子河風景 奉天漫速魄九市岡 代田通三四

本溪湖風景 華天從町十一加藤

準河情景 奉天從町 奉天鐵道事務

春風景 零天鐵道事務所內田景 安率線橋頭菰田巖 三等八賞金五 ▲初夏風景 率天織道事務所田畑和吉郎

通景 奉天橋立町十六高 遺 鐵嶺小學校志田正一

應募作品百二十餘點

二等以下入賞者氏名發表

▲河畔の朝 大連市沙河口大正通 外(記念品贈呈) 安奉線播頭茲出

大連老虎灘八科球店漫画指断編然日十年前八味深平し業上日、東大郎の日間大である日、一日午前八時までの日間大である日、大連老虎灘八科球店漫画指断編像 婦の 飛ぶ緊縮の行方 の風 • 近く質問を見る響である 訴へ 相生氏を

地方法院

3

分業制度

2

切符代を

遅なる御言葉を既はつた

時演
こ
展
覽
會

横領隱匿

支那人車掌が

取引の確實と安價を

目標にする洋服

軍大臣の招待で我國各

であるが、十一日午前

海線社會隊の主催で左の如く十二 質を開催すること」なつた一般に 動きの機能を希望すると

補機社會課の主催で

生地と仕立

節約デー

無事を喜び合ふ

似付られ握手を聴はつた

に叙し旭日大綬章を御下には殿下の参内に先

社員俱樂部第二食室

出、三越復土に於て溝壁の風土色、一地を集めて個人展覧官を開く密を開く密を開くの風土色、三世を集めて個人展覧官を開く密

野金屬商の一軒に飛込んでみれば 野金屬商の一軒に飛込んでみれば 単の商賣は此二、三年以來全く 上つたりです

近所の婦人華客の小間物屋さんに

と厄熱酸が来たと群り離をそむける、丁度御役人、會社員の内はどれもこれも満貫だ、潜い清銀社員の食事時でよるのは暮のボーナスの弾想、女給の職、そして代は襲撃に書いて大から吹、そして

衣食往必需品以上ですから節約人の化粧品はどちらかと言へば昨日から節約デーですか、御婦

現金賣制を

忘れた買物奥様

けふから來月拂ひと許り 消費組合の大賑ひ

> 送還されて歸る 頭りの確認を期して洋服の原償を 安くしようといふので大連輸入組 との間に仕機製料を組んで掛質れ との間に仕機製料を組んで掛質れ との間に仕機製料を組んで掛質れ との間に仕機製料を組んで掛質れ 職を討るため生地と仕立を分榮制。の洋服商三十餘軒は生産原價の低 た、なほとと同時に輸入組合加入十二日役員會に掛けること」なっ

られた 分陛下には九日夜入京 分陛下には九日夜入京 手謁や賜はり大震災に 手調や賜はり大震災に

放浪の白系少年

けふまた一人日本から

はむに家なく頼るに人のない可憐 つた二少年は水上巻の二陰で手を あっ 歌歴に逐ひやられ父母の懐に ホロリとし取敢ず露厥領事に高い合う たがその後父母は死に天涯の孤兒 要りません」と頼るホロ・な熱疹 たがその後父母は死に天涯の孤兒 要りません」と頼らホロ・な熱疹 たがその後父母は死に天涯の孤兒 要りません」と頼らホロ・な熱疹 たがその後父母は死に天涯の孤兒 要りません」と頼らホロ・な熱疹 度 本の定期の音形丸で蒸還された 本人等の離びを容れた に 本人等の離びを容れた に 本人等の離びを容れた 度となすべく、大連部沙商組合も大生の一般で取ります。一次の一般で取ります。一般で取りまれたか、はらず一般何程で取りまれたのでで、大連部沙商組合も大連で、大連部沙商組合も、大連部沙西は生地商と仕立商の分類に関係と分れこの結果。原便に於 て非常な低下を来すものと期待さ

特別御進講を 午前九時より十二時迄第 日は全髪戲を三班に分を 日は全髪戲を三班に分を である。

聖上御聽取 京大の狩野博士から ブラジル事情も聞召さる

日本概、西廣場、常盤

午後三時より六時迄の二時より午後三時まで

に常務員中より二名宛

男圏に就て」なる特別御進器を御職販あらせられた、更に午博士を召され約一時間に宜り博士より「我國に於ける儒學の押器傾付けられたる後宮中御學問所に京都帝大教授狩野直喜『東京十一日愛電』天皇陛下には今朝十時代サイアム皇族に『東京十一日愛電』天皇陛下には今朝十時代サイアム皇族に 官のブラジル事情特に邦人の植民につき御講話を開召された後二時からはブラジルに二十餘年あつた野田外務省一等書配

分案天へ 一日成南松與水電視察、二十 二日京城闘者同日午後十時二十 一日成南松與水電視察、二十 一日成南松與水電視察、二十 醫大業

全満高專ラ式蹴球戦

格安吳

服雜

賣

御

德用

品を

H

K

品差加

着澤

同郎

で…

一部も早間以後に一等襲索車一輛 不分率天へ向ふ像定である。 師京 をはいける太平洋倉護出席者中の が、二十五日午前九時 である。 師京 が人員日程は未足である 十日午前九時から 下に於て開催された 大跳て事の試合は開催された 大跳て事の試合は開催された 大跳で事の区 大跳で事の区 大勝し次 等専門學校のラ式就会

酸となったが、後壁に 勝となり更に午後三時 雅大 18 153

落のため自殺

いて居ることを自由した

18大五 田波下居田下村武非冼島川野野井中雅大折久木今行酒未中澄平上今 0 3

コニーヨーク 財界では相震知られ りオルダン氏は最近の株式市場の 大瓦落に縦手を負ぶたを苦にし本 大瓦落に縦手を負ぶたを苦にし本 では民主 繁烈で た人物である

許否協議 置の

堅

牢事防

縮

防蟲害

許

毛メ

ヤ

ス

衣

提

三署長が明 日下問題となって居る遊園科理店 にメー併置に購し高山大連競問 ・一島子、久下沿沙河口の三県長は 十二日関東歐黙御局に出頭して右 十二日関東歐黙御局に出頭して右 十二日関東歐大連競問名

御用命を題上げます。

比でありません、

この優良國産品を宣傳の爲特質を以て提供中上げますことへ

交通訓 全署員を二班に分ち 午前九時から午後六時まで 實 本は市中の四北二十一ヶ所の地道 本は市中の四北二十一ヶ所の地道 等の見透しを好くし且つ歩道から 等の見透しを好くし且つ歩道から が道への遮臓を便ならしむる方針 日華紡の て目下夫々準備中であると樂部に決定の模様で奉天支

際によって

宏楽洋行 蜜柑 卸問屋

追剝ぎ専門

松柿みかなきかちいさかえぐたいた かぶ う わ れ 茸 ん菜すりきぬしばいびちこから十

田誠合 素腐例會を來る十三日夜市内若狭町二滿電俱樂部に於で開催す番組は龍田清郷佛原鉢木腐坂番外高城等で※聰を歌迎する アラハタ 升來出に輕手が一レカスイラの上最 いさ下べらくおミ品他度ー

會 會 葬 葬 御 御 花の屋本 禮 禮 ·男 男 親坂友人 親鷲 電話如為我 成友人一大

同勇

昭和四年十八月十日南滿洲鐵道株式會社出自司リ十二月十日迄株式名義書換ラ停止ス當會社定款第二十條ニ據リ昭和四年十一月世常會社定款第二十條ニ據リ昭和四年十一月世

弊店獨特

0

を始めた

AUGUST-FORSTER PIANO 全滿總 K 1

2

獨逸高級ピアノ

高族家の慶事 前ヤマトホテル柴長齋螺佐和氏長女貞子襲は今度中村勃之氏夫妻及見玉皋静は今度中が別成り水十三日午後四時よりヤビトホテルにて正教會牧師鈴木司でいた。 祭によつて結婚式を擧げ續いて被 (本学) 大会會 (本語) 大会。 購買會當籤番號 本日抽籤の結果左配の通り常籤仕 第二十七囘第五次 各組共第七二號 昭和四年十一月十日 大連市浪速町二丁目 大連市浪速町二丁目 大連市浪速町二丁目

支店

¥5.50 16.35

三大特長毛メリヤス肌衣

特價提供

¥3.50

S 3 ¥450 ¥5,15

S 4 ¥5.00 ¥5.75

(シャツ・ボボン同脳設)

地方沒料一枚十八錢

S 2 ¥4.00

2GH

本年はじめて全く完全

摩牢 防舵 防虫害 の三大特長を具備したもので、品質に於て彼の優秀た英國製に遜色だく、な毛メリヤス肌表が製出されるに至りました。 本邦に於けるメリヤス工業の愛達に伴ふ製造技術の進步と、化學的研究とにより、本年はじめて

+

市營市場の

上の問題は少いやうであるの慎重な考慮を要すべく配給技術

ではない、其他の商品に就 の発賞と信用とにより相當の好成 が意と信用とにより相當の好成 が高人を起用して當らしめば組織 がある。

を表示した。 意味に於ても現地器市場との振物である。 意味に於ても現地器市場との振物である。 が必要である

塵

黄

郷園・芸芸

◆ 新 () 新

漫經

不思氣に四十萬圓ツて身代金は?紙一市會の親れが何んとかアレの身の振り方もつけてやらずば、と、何んとかアレの身の振り方もつけてやらずば、と、何んとかアレの身の振り方もつけてやらずば、と、

止安高寄

海標

金

芸雑は経

改善問

結局は四制度に盡く

その利益と弊害

人は取り上越た不便を感じてゐ りの損傷無熱の受援をこばみ明 りの損傷無熱の受援をこばみ明 を記してる

◆…これは軽銀が經過節的の名響 新券を發行しないためか到ら に出納係が無関心のためか到ら

新祭を發行しないためか

美文章与大学 1音、大学 1音、大学 1音、大学 1音、大学 1音、大学 1音、大学 1音、大学 1音、大学 1章 大学

し(單位圓)

である、各地別に内跡を示せば左に十月末線貸付銭局は二百五十五萬里の約坪額に塗した聯連の五百萬里の約坪額に塗した聯連の五百萬里の約坪額に塗した聯連の五百萬里の一次。

開始されテキサス、アジア、スター最近満洲に於て石油の大鹿寶職が協定値を破る

水產界果然活況

珍らし

い海老の入荷

10五千五二

石油の廉賣戦

東西期米崩落

鮮銀券發行

億圓を突

では現在の四分配宮を減ずる餘地 は全然ないものとされ、過酸却能 は全然ないものとされ、過酸力能 は全然ないものとされ、過酸力能 は一年期に減配はしないらしく同時に 学用に減配はしないらしく同時に 学用に減配はしないらしく同時に は上配宮は据載として減配しない は上配宮は据載として減配しない ない。

日

=

輸組貸付け増

入れに

十月末貸付殘高二百五十萬圓

盾するもので成行きは注目を惹いてゐる

區

域に

濟

壮

來

す今年も然に經界や形で費金が集り を立てたが財界や形で費金が集り

を觸れないこ

歸 東州を包含する意圖 關稅

篠崎書記長るり可否を照會し來る 成行き頗る注目さる

では、 日本三点酸 場所は 日本三点酸 場所は 日本三点酸 場所は 日本三点酸 場所は 日本三点酸 場所は できるが之を 腕列する 繋物 脱がない。そこで 繋池 できる がない。そこで 繋池

を受けるが家食のみはは、大阪のさる情家三名が家食のみはは、大阪のさる情家三名は家主なりついるる情家三名は家主なりのいる。

東支沿線穀物旬末在貨

(十月下日

五品

家主が護がして一割五分

は今一が進めて関東州を日本の開税區域に包含開税施行によつて無税となり得るものであるが、上京中の総職氏れてゐる複様で、即ち闢東州に設置された場合、その製品は特惠工大條件たる製品の日本内地輸入に際する関税關係に重きを置か が特権を放棄するといふ重大なる問題に逢寒に對外的に之を見る時、自由港たる大連港に及ぼす影響等を考察するに、何れも重大なる利害關係があり、 に分れ、通商上に及ぼす影響、州内工業に及ぼす影響及び 通道家 の観税區域に入る、事に転しては、紫外的と紫内的の二様の貝索 就き工業及び貿易城部の意見を求めて夾た、しかし関東洲を日本 **階長によつて政府要路に運動が試みられてゐるが、影響に要する昭和쬁鋼所の陽東州設置に願しては目下上京中の大浦商叢篠崎書**

見富を唱へてゐるがこれを前月相りお美学印は箱二櫃入四圓二十錢的方演神場の慘落を見るに至つたり石油相場の慘落を見るに至つたりでは一種大四圓二十錢 南滿製糖甦生難 鮮銀との關係が切れねばと 場に比すれば一割六分一厘の緑落

一銭八厘一月三十四銭五円三十二

鐘大新

新東[寄二六]

満鐵融資を嫌がる

震務財政の意見を続けてるとのでは、一般のでは一先づ之を機會としては質の同社の更生のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

右の融資による復活運動は前徐記の前提として先づ徹底的整理の一 分工場として更生するとしてもそ 村は四、五十銭方の崩落をが原因して休舎前日の後場が原因して休舎前日の後場が原因して休舎前日の後場が原因して休舎前日の後場ができません。

総条布(戦弱) 米松二、三十銭総条布(戦弱) 米松二、三省比仏落に大阪三安、約1241、三省比仏落に大阪三路(全) 22 大阪 110 日 110 日

げを行ふべく総意研究中でな 際に於ても一湾に電燈電力の 際に於ても一湾に電燈電力の 電燈料値下 滿電支店長

満鐵鮮鐵から

貨車二百輛借了

特産物輸送のた

め

一日三國にて二百編を励通することに協定成立した

大連輸組役員會を開催左の事項を附置され、新規加入者容器調の件で、新規加入者容器の件で、新規加入者容器の件では、一、新規加入者容器の件では、一、新規加入者容器の件では、一、新規加入者容器の件では、一、一、

調の件調の件調

為替相場(計一年)

家庭用とて 製造販賣

デデ 「悪霊

行 大連市近江町八番地電話5168

公主饋

開原

1 55 交交至 | 盟 | 44 | 568



趣 餘 進 基

宫家御採用品 ピースストーブ 投炭一日一回無煙無鬼

大阪綿糸 十一月 1450 1公50 十一月 1450 1公50 一月 1450 1公50 一月 1450 1450 1450 1450 1450 1450 1450 1450 神戸豆 111110

三山田商店楼部

奥地市况(計學)

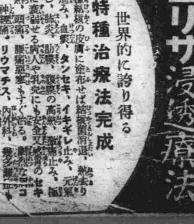
代理店 日本賣藥會社大連支店

代理店阪大

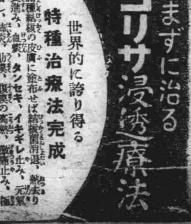
痛經神スチマウリ膜腹クマクロ肺 阪 各百貨店、鮮萬、大锅代理部 京 大木合名大 高橋、 呼平, 小林、 會社 東 玉置合名大 高橋、 呼平, 小林、 會社 東 玉置合名, 大阪市此花區吉野町一丁目

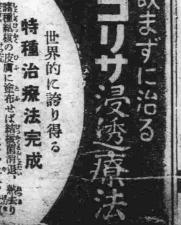
株式の郷取引は山田へ

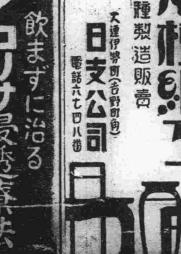
海内 特二九四 外地途太陽 十章 四十 版七十 五個 五二 報告十 五個 経緯 用酸酵雞



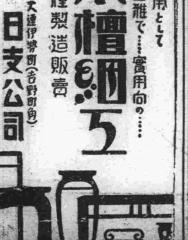












本器にあり

暖器の解決

印度麻袋 新直積 5留比5分1 新筋直積 5留比5分十

覇者は誰? 群雄割據す

二人娘巴白波

正宗新九郎王演

酒銘

監督森田京三郎

「テへ、また、へえか。手前のへえは變に不氣味なへえだ。だが、酸は手前のそこんとこが好きだ、から、魔の海を目の前に見てゐるやうで酸的、――で、話といふなやうで酸的、――で、話といふなやりで酸的、――で、話といふなかの話だ。手前の娘のお京、あんな吟氣なんぢやつまらないが、 だ。が今夜のお嘘をさせたいと思って、 からでのお嘘をさせたいと思っているないとだ、 此方に否慮 あれば今月入ったばかりの新米だが、副自さうな女だ」

のことだから、何處からかつばら つて来た女共だらう。 くとつのお根は、與太な奴で、 というではた片手でまだ未練らしく、解酵の凝り飲みをやつてある 博士の才蔵は冷たい縁に、太皷 博士のおもしているが、殴ってある のかと思へば解が開えず、気め のかと思へば解が開えず、気め 話がしにくい

(日曜火)

分つてゐる智だ」 瓶子を把つて脇息越に酌いでや 話がしにくいーーまる一杯酌いで「へいか、どうもさう改まれちや ◆此の映画で果島すみ子は認に 一篇だに涙を洗さなかつた。金櫃 一篇だに涙を洗さなかつた。金櫃 でいまないである。

◇ 本行生 ◇ 一人の父、一人の弟、健か三人の、然も肉類の ◇ 本行生 ◇ 一人の父、一人の弟、健か三人の、然も肉類のある。北村小松が描く「母をいだく女性」の一篇は複雑なる縮圓である。北村小松が描く「母をいだく女性」の一篇は複雑なる縮圓である。池田養信監督、栗島すみ子は家の爲に、我が身の爲に、何を惱家族であるのに、細田すみ子は家の爲に、我が身の爲に、何を惱家族であるのに、細田すみ子は家の爲に、我が身の爲に、何を惱

で再び皆様に相見ゆ… 東亜を背景によき助演 馬 天 狗 突如!八日 %大公開 蒲田行 面國

進曲 RR





一栗島ナム子を第6 金▲保名▲三千歳▲文屋▲十四季三紫草▲夕立▲神田祭▲

日

洲

人とマキノキネマに在つて腕をふるつてゐた富澤進太郎監督は今度長額に入社し夏生の 瀬瀬を以つて第一回作品跡縣輝太郎原作の現代縣「蜀つて來た兄」を製作着手であち。

持ちよく

日下齒科醫院 日下齒科醫院

200

と決定した。

病药

◆「希望」は「彼と××」の北 ・「希望」は「彼と××」の北 が小級のシナリオである「彼と× ないが、彼女もまた時勢を知つた 津多皓三

今までに無いよい取くみであらう ▲「悲劇の樂聖」と「荒野」をあ げる微響酸と「さんざ時雨」「希 望」を掛ける帝國館といづれが勝 望」を掛ける帝國館といづれが勝 でか見物である▲渡遊館をよして 京城に行つて居た小波君が楽元の 古巣へ闘つて來た▲渡速のでよして たが総点、素人目にもオヨソ明らたが総点、素人目にもオヨソ明らた。 今週の演奏館と帝國館の對立等はかに「秋枯して」しまつた▲まあ

▮ぐ棒に性女き若の世くわまあ 希 時でんな

秋季超特別大興行

6

専の一唯洲満 〜店弊の店門





まづ精力、性能を萬事それからト



元 東月あやめ、歌略英子」 演 藤間林太郎、星野 進] 共 東月あやめ、歌略英子」 演 藤間林太郎、星野 進] 共 名像アレッグ・Bフランミス氏主演性格アレッグ・Bフランミス氏主演 夏多 伊勢路の 老 服岸 東二部・願次さん

月にも披れの色の見え初めた二 野過ぎ――舞歌は打出の酸の陰的 あるの 離石の苔にしてとり歌が下りて、竹餅代の鮭根であるの 離石の苔にしていた。

く飲んだやうで……」

いつの群(力)

青筋を一本額に売らせて座ってる

陣十郎、手前題く巫山鷹ちゃいけ

なにが親方……」

っなにしろ整問からぢゃで大分に

帝屋には、一

人々は戦権のやうな息を吐い屋には、酒気が定んで灯が搖

「飲めねエ奴は仕方がねエの手前と他だ、飲み明かさう」

ら調めることはせなかつた ◆館で私に新女性艦のヒロイン が今茲に再び働・・を知つた、俗臭跡々たる父弟、類 りにならぬ無人を持ち乍ら暗然人 生に活て行つた「希望」の女性の 能さに、僕は恥かしい話乍ら吹い を魅力を感じたのである。

らに動がつてゐる。 ちに動がつてゐる。 ちに動がつてゐる。

酔つてゐるの

「どうもはつた性分で

見るとうらやまし

マート社の愛際状態に出演の契約であたが選にトーキーは彼女を誘って再び映画界へ呼び戻しソノ際して再び映画界へ呼び戻しソノ

つの女の他は、評判の思い唐五郎

男はもとより唐五郎の舟子共で

「陣十郎」

情濃町六八に稽古所を有する東都市元宗家の高弟清元三銭を配成を配に配する大連満元同野者は来る十七日午後一時西公賦内南華殿に於て第一大清元小會開催に決し目下そ第一大清元小會開催に決し目下そのである協當日は既然が門乳間である協當日は既然が門乳間をである協當日は既然が門乳間をいる。

天一

漁花メンス駅の人気ものが此度見出されて東亜キネマ現代戯ぶに入せなった、彼女の獣脈な姿をスクションに見るのも遠くはあるまいで印南弘監督のもとに出れる事をなって印南弘監督のもとに出れる事

名の見伏羽鳥 名の天駄草 公の王倉 切封卷八拾半前内の卷六十三全

即時常精光を服築して地球を変数不進のほせば、いまでは、一川東又検部には、中臭くのはもあいまれて、中臭くのはない。

もとより部屋は状態狼藉であるれが、鳳線のやうにふうわりと人れが、鳳線のやうにふうわりと人

が、まあお前はそんな性だつたな 皆から」

清元重團松師

ローランドは映識界を久しく引退 普連續映畵の女王と諷はれたルス

到

映皇界東西

地面演習 1

終するに、飲むだけ酸つた後の疲み

幾ら頭いたつて同じことだから正「何故つてこともないが、この上

「おや、何故だ」

K

御油

意

無名ボッ (タイドクの頃がてる事性

なた

た化粧水







(四)

(166)

田よ (特別與行なれど 一日よ (特別與行なれど 一度社第二回監督作品) 一度社第二回監督作品

由 黑

頭痛を覺えて

を知り

知つて頭痛を忘る

合

直文著

文學博士芳賀矢一改修《全六卷一本文五卷、索司一卷

募豫完全 集約成卷 断じて類例を見ざる成句・固有名詞を満散し、佛一は五十七十十二月十五日「他の國語解書の追逐を許さの豊富なる語數と、分辨」は申込金共六十國、「全國語界の太陽「三日泉」完成、帝切十一月十五日 文化を象徴せる

發行所 鹽川 解禁 黨の興味あるこの秘史! **今秋絕好** 日本共産黨事件の検理額米を實際に見聞し、本書の編著者は、登戦戦団人の帝都一権新 出た遺め 總監閣下の 0 讀物

北 編

本社新築落成 肇本馬級高 十月二十移轉

健康と治病を教へる

東京市美野町野

人病の種々出る ※三回以後の配本略目

慶大教授醫博 唐澤光德 科病院長醫鄉 小畑惟

傳染病。知識

第二回

· 安 第一回=配本中 名士の推辞 (共二) 三、人間として一番幸福な事は一家の中に 特典を複者と素人の判話」の「層者と素人の判話」

東大歌師醫師 村山遠三東大教授醫師 宮川米次 東大教授醫博 三字鏡

一 一 要不金込申 一 呈進本見容內

錦町一ノー九十

四三二四〇

東海 一度現品を御覧ください。〆切期を見よ。本篇一度出づるや、滿天を見よ。本篇一度出づるや、滿天 カ篇

申込締切 日本地理風俗大系。第一回配本 + 月

十五日

配本の需に應じます。但品切配本の需に應じます。但品切配本の需に應じます。但品切 內容見本鄉過

寫真と興味ある本文とにより、世別の國ハンガリヤ、其隣邦オーストの國ハンガリヤ、其隣邦オースト興城チエコスロバキヤ歐洲唯一の国の国の国の自然と人事とは、登場が、 儘を活寫し來り無限の興味を覺えしめる。 寫眞と興味ある本文とにより、其のあるが謂中央諸國の自然と人事とは、珍奇最新の ーストリヤ等所 一ストリヤ等所

あ 3 20 らず。 到す 際にも増し ながら世界の隅 る本文とにより 學界權威者の興味あ 珍奇最新の寫眞と親 で見物出來るこの **卜熱狂第** しく其地を見聞せる 今スグ 大出版、 好機は再び來 て申込殺 回募集の 滿天 々ま

資本金

心干

萬

會採

瓶を常備すべき



家庭用オキシフルは、絶對安全無害 なる家庭用必備品で、右の様な廣い 用途を持つて居ります、必ず其一瓶 を御家庭に…

歯の美白に………其ま>又はハミガキに落して 口腔の清浄に………・うがひ料として 不時の負傷に……應急手當藥として

ひげそり後に……皮膚病豫防に、かみそり創に 不快な汗臭に………清拭料として 着物手巾等の……しみ抜きに

室内空氣の清淨に…噴霧料として

毛織物絹布等の安全な質をいためぬ漂白料をして

工京室町 三共株式會社

大連市上縣通一九三

御中越次第御送りいたします

其他用金廣汎詳細は説明書を御置下さい

語通 信 設責 授任 ABC が上液會諸用来る造成功 常送本數冊四ヶ月教授付二圓相 常送本數冊四ヶ月教授付二圓相

市家山、美春、吉林、樵樹、本溪湖、安東、興庵街 金州、、**普線店。望于監、後山、**家天、小唐観、公主切 滿 振潜(大連)三三〇番電話(代表)四二二一番 井 太郎

支店所在地

『東京十日愛電』海口首相は中島 金解禁機運は熟した

か政府の政策や豫算について追いの解散はよろしくないと決心しの解散はよろしくないと決心しの解散はよろしくないと決心し サケートな問題であるからまある中否やについては事個めてデ

かといふに、理論の対応

脚京したが、車中若概全期に大きな見れたが、車中若概全

第八十一日發電 別野口首相は本一は午前十時代井上駿相を官邸に訪っがあった。 【東京十一日發電】太田闕東長官。間し闕東歐豫第につい

河南民軍の活動で

反蔣戰永引人

カ

2

閣氏の態度曖昧こその眞目的

上海方面での觀測

濱口首相講演

製造の に関く、その理由は政府であるとの確信を有してある。 の確信を有してある。 は共和對多數

友猛然起って 來議會には議長初め 邁進

各委員長獨占の意氣込み

倒閣に

噂に上る 議長候補こ

犬養總裁を迎へ

政友會九州大會

大分市で氣勢を揚ぐ

改善計畫

世界的に見た

たら國民の一小部分に過

共産黨の勢力

文部省に於て

『東京十一日愛電』文部省では現 ないた。 なが内容十年一日の如くで改善さる中壁講義銀を發行されてある中壁講義銀を發行する計画中で改善さいて監問といて監問を破る今回報感ある。 を同様の資格を解生同様の試験を行する計画中で改善さる格字変者には中壁校で改善さるを経り、 と同様の資格を解生同様の試験を行いないにといる。 と同様の資格を解生同様の試験を行いる。 と同様の対象を対して専門の数価を を対して専門の数価を を対したが合格で変者には中壁校で変 を対した。 と同様の対象を を対して専門の数価を を対した。 と同様の対象を を対した。 をがした。 をがした

日午後八時一擺教育會館に開會中を行ふこと」なった

軍艦の必要判る

今度實地に研究した結果

若槻軍縮全權曰く

太田長官きのふ

井上藏相と懇談

關東廳豫算に關して

を駆談する處

ある。磐働者や無産大衆の内に「トプロシアの共産黨、シスや時の勢ひに依る急激な變化」としない、イタリーの唯ここで注意すべき事は物のは「しも興籔の非常に多い

解して見やう。 おおお 一本共産業事件が解禁された――この日本共産業事件が解禁された――この

一人の職員

先づイギリスを見るに、會社主

も出てゐない。

四、五千人に過ぎない。鑑會には 変んでゐるが、共産驚賞といっぱ であるが、共産驚賞といっぱ

九二四年(大正十三年)には十數

融合主義者は五十萬人から居る。 は四。五萬人に減つてしまつた。 覧と稱する者が十萬人以上居る ・ドイツでは未だ解え多い、共産

ではないらしい、震民には手が、用がではないらしい、震民には手が、これとても大したは、 本ではないらしい、震民には手が、これとても大したは手が、これとでもる。

などは殆ど眼中にない有様で、共の回の復興人百三十萬栗、共

俸給天引

共産黨職員の頭数も四十五名から集候補の得票が増加してゐる。作年の選擧には四百萬票もあつた。 實際政治には殆ど實勢力がない院五十四名に増加した。然し彼等は がしもあないの

に十四人となったっ

邊防軍慰問費に

の政治、經濟問題である、省黨 の政治、經濟問題であること であるが、地方の事情もあり、 さう容易に實現することのでき なは遺憾である

東鐵文書の 支那語併用目

本 立 (低落) (報位厘) 一月末 交配 (交配 で配) (200 で配) (200

(長謀参宅三る送見で騒玄部令司軍は眞寫)

後 場 (出來不申)

遼寧省出穀禁止

糧食の不足を虞れて

(十二月)

商人を装ひ潜す

居る事をひどく悩れた

後門の狼を置よく追

軍職の移動 の事職の移動

開始は右の目的質現の

ために一

で後も中央鉄西北軍のである、斯

は としやかに帰國の主張せる交渉内 シャ臓の主張に関連関連に変してあるが直接関係ある では自来ロシャ人の處分間類を東 が選し、その壊しについてもロでは自来ロシャ人の處分間類を東 が選し、その壊しについてもロでは自来ロシャ人の處分間類を東 が選し、その壊しにのいてもロでは自来ロシャ人の處分間類を東 が選してあるので、支那雌はこのをは自来ロシャ人の處分間類を東 が選してるるので、支那雌はこのでは自来ロシャ人の處分間類を東 が選してるるので、支那雌はこのでは皮がしてあるがまだ 無種の報道を日本側の作文だと概が、部涌信方面では虚めに需支交渉近

協力一致が必要

人は

仙石總裁の感想談

へは大正四年に來た

だ 「一世」」」 「一世」」 「

意を得て行はれた事は は南京政府に對しては がら西北軍の官
は と酸表して

與太盛んに飛ぶ

勞農政府の宣傳機關—

アン

ガスタから

は関氏を否定は関いて関氏 露支交涉

を選かに進展せしめなかつた有力 な原因で民軍の活動が今後も續く 限り主力職は當分見られざるべく になって民軍の活動が今後も續く

施に週迎するに鑑み各銀行の貸出 を開始せしめると共に各縣財政 を開始せしめると共に各縣財政 の上臨時地方公債百萬元を 趣備中である

原来天中電十「日登」今夏の水害、 のため流動者三十餘縣は糧食不足。 の味あり、此時に方り好商は空に がいの出境を全て之がため穀物鑑 せるにより省政府は一次種食不足。 の出境を全て之がため穀物鑑 があり、此時に方り好商は空に があり、此時に方り好商は空に があり、此時に方り好商は空に があり、此時に方り好商は空に があり、此時に方り好商は空に があるもの増加 督戦隊編成の

『本天物電十一日号』北海の前線 における取職中軍規を無視し逃亡 兵線出するにより張野良氏は之が 上のため餐職隊を編成すること 入り東北職政駅室在駅生より修秀。 大阪により後ろう。 大阪により修秀。 大阪により修秀。

五日には第一署二五名、第二署、 二名、第二署二一名第四署一六名、第二署二一名第四署一六名で合計一六二名で第五名 標準七日は中央大街二名、第一署で一五名其他で合計八八名で第五署 無寒陰であるため松花江鉄岸の松。 一条であるため松花江鉄岸の松。 ▲石本鎖太郎氏(大連市長) 九日 夜愛在率の家弟を訪ね十一日朝 歸週 ▲彌永茂太郎氏(祷鑛率天支店長) 社用にて十一日朝來連ヤマトホ テル投宿一兩日滯在の發定

産成するまで間氏は依然 万観されてるに然際味の底

東北四省の

院內總務顏觸

満洲の優亂を圖る 露支鮮人のバルチザンを組織 勞農司令官の策謀

ひしさ胸に迫つた

國民的正義

第九信 京都にて 一記者

根・木下前間東長官其他貴家耐院 ・木下前間東長官其他貴家耐院 ・木下前間東長官其他貴家耐院 ・木下前間東長官其他貴家耐院 ・木下前間東長官其他貴家耐院 ・木下前間東長官其他貴家耐院 ・大田麻酔問、三土前被 ・大田麻酔問、三土前を ・大田麻酔問、三土前を ・大田麻酔問、三土前を ・大田麻酔問、三土前を ・大田麻酔問、三土前を ・大田麻酔問、

軍制改革根本案

方針未だ具體化せず

一、師團數は其儘とし其祖親りの改正の改正

一席やつた 排日の宣傳 白旗を手にして遊行 哈市特別區學生會の名で

また支那學生が

九日左の如き銀日の宣傳文を市中 て手にし要生等は遊行した特別區第一中緊逐生會の名を以て と纏めて減越な宣順を行び的旅を行び的旅を る同胞よ十一月九日の一名同胞よ十一月九日の一名同胞よ十一月九日の一は露支関係が武力を用ひは露支関係が武力を用ひは露支関係が武力を用ひてのでである。

百萬元

して……」との記事のでは大います。今年は年寄りの常り年だぜに大います。

ジ米國務次官

北満から

掃さる

經濟機關は

約三百萬圓に上る損害

機関閉鎖に

| 大学の | 一大学 | 一大

雄基新阿山間

吉會線の開通を俟つ

世の服地は外國産を使用するの傾回 あり、斯くては國官影響の趣旨に 出 も反する故將來省民の服装は 利産 品を用ひ以て外貨の輸入と利權の 最大と利権の は 一般に 馬知方布告

那伽委員の心事が翻取されるのしたなどと對照する時、こゝには、故國に歸る面目がないと絕接權の卽時撤廢が可決されないと紹言を以いる。 本1トの支那に於ける經濟機関は かを顕常の実施で、これとて最近支流で、これとて最近支流で、これとて最近支流で、これとて最近支流で、これとて最近支流で、これとて最近支流で、これとて最近支流で、これとて最近支流で、これとて最近支流で、これとて最近支流で、一般では、中央の経過は、中央の対域を開いた。 クの残務整理機関が形態を保つて上、の影響を 受けてソウ全部旅艇するに至り今はダリバン全部旅艇するに至り今はダリバン

水と關係を明かにし、且つ絕對に営々として日本の滿洲に於ける中営々として日本の滿洲に於ける中明するも誠に大人氣ない程である。

と十五銭程度に低汗される見込で

の變形である

開鎖するに至った の服装職大事実に流れ始つて多く「環境は」選索省政府から八日附 あると 國貨使用命令

本が上来を表して居ることも利用の機種と根壁である、シダア、カシ、マエムの生産送に世界の人類を実施して居ることも利用の性種が変して居ることも利用の性種が変して居ることを表して居ることも利用の性産送に世界の人類を実施して居ることも利用の生産送に世界の人類を実施して居ることも利用の生産送に世界の人類を実施して居ることも利用を表して、中野町が

た、それにしてもウカヤリ ・ サックを治療に数は要大なもので、土人は を表現して地方の製設・数は要大なもので、土人は を表現して地方の製設・数はで、土人は を含有する。

 (Ξ)

見る影もなく戦

南征雜錄

アンデスの東麓よりウカヤリ流域された。 大将・交通不便の齢鬼容易に開むこを流下しパナマを連続は自國の個内は大本本が、アマゾン から量えされる する、また越だしい響いする 脱速である。 天興の富智 ・ 天野の富敬 関地 大なで一立米実三個内 ・ 大では二十個以上す ・ では二十個以上す

が一般では、國内の生活問題も今日の を一度は、國内の生活問題も今日の が一段の多くは田殿に配置され、重に 日本の多くは田殿に配置され、重に 日本の多くは田殿に配置され、重に 日本の多くは田殿に配置され、重に 日本の多くは田殿に配置され、重に 日本のと、本の

また、それにはから多量、質の生産物を から多量、質の生産物を から多量、質の生産物を から多量、質の生産物を たたい、これにはから であるが、いたが である。

本人の右に出づる

は既に三十年前の事であるが、當出來病人の秘鑑に入込み初めよの驚を促すが興つて大きな力がある では、なると、というでは、表情な人生の最も興味ある都市として、 では、大生の最も興味ある都市として、 では、大生の最も興味ある都市とします。 ないで行けば、表情ないで行けば、表情ないで、これとソは素通り者の味に味ざる。 では、大生の最も興味ある都市とします。 では、大生の最も興味ある都市とします。

唯りに上

ソープス山地駿沙の際親く目 が、オロヤド、 この事實は私が ソールを經て申折する新鍋

が傷東諸議院の組織を購承するが、 之によりて精州問題を解伏が、 之によりて精州問題を解伏が、 之によりて精州問題を解伏 はねばならぬ。 そのイヤ

とまれ満州問題は、

議邦人の緊御一番を要するのであ 記されつよ行く事に関し、我が在 日支間のみでたく英术等の介在に 湖邦人の緊御一番を る。

受喜歡迎

を寄附する人があったら悪くはないかまたとは勝手だ、また足らない分からとは勝手だ、また足らない分を寄附する人があったら悪くはない。

卒業生 等の群が落ちつきのない、 等の群が落ちつきのない、 というない。

ツとする醜狀

國際都市ハルビン

CENTERIN

で斯うした社會性に

では、カリのでは、カ

交錯してゐる內情に愕くだ線と魔窟、乞食と揺浚ひが

安な足どりで抹舞してゐるで なっオトカで恐怖を壓へぬ なっオトカで恐怖を壓へぬ する努力が、騒べしいオーケ で抹殺されてゐるのである

ではれるが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいる。 でい。 でいる。

ーッエのレストランや魔冠かの光澤下に脱めた時は其のいない。ファンターデは認めた時は其のいない。

一大の小茶児 選がロシャ人はロシャ人で徒驚を組み支那人は皮那人で 連絡を勢り感に暗中飛躍を跳みて ある、この似郷はどこまで値くか なる、この似郷はどこまで値くか することが道徳的に服悪だなかつた日本人にとつてはなかった日本人にとっては ンの代表的作品となるのは 北端の多を触る裸ダンスが 北端の多を触る裸ダンスが つては久米の個人

亞細亞石油株式會社

新製品銀 貝印御

發油の發賣

今般亞細亞石油株式會社に於て新製品「銀貝」印揮發油の發賣 處のドライガリリンであります を開始した事は揮發油界の一大福音であります 「銀貝」印は完全燃燒を爲し最大能率を擧げ得る事を保證する 小賣値段 赤貝印揮發油よりも「羅上村金五拾錢安

社式 五 福 葉 昌 話八六 商 司

取次店

代

理

店

大

連市

通

泰 昌 電話二一〇七二番

代田通三六 亞細亞石 油株式會

天

Ŧ

奉天發賣所

電話三九五一番

目的を貫徹

合團體協力して

前に突發したるもの、如くである は何れにあるが目下調査中 が 前に突發したるもの、如くである は何れにあるが目下調査中 が 動物のものとの設あり照る 工夫 は 一日午前四時頃老虎客と東ケ岡の が 進行中通行中の炭優負高倉祐一 線 1000 に 一般 1000 に 10 要統上部に設置しある炭車止めの 安全装置をあるべ遥能量のもとに わづかの際に人知れず破壊した試 がのものとの認あり頗るま大観 は前記安全装置は再放防止上重 上まれてある。この不総計量ぎの根 は前記安全装置は再放防止上重

經濟緊縮の

殿館の職立されたる満洲公私郷海駅縮委館立されたる満洲公私郷海駅縮委

を見っ幅めて 緊張し、双音蘭内郵便局に於ては 本會を利用して節約貯金等に関す

(国際) (大学学の) (大 經濟緊縮のために

H

を知恋せる共産派果は中國人が同 を知恋せる共産派果は中國人が同 を知恋せる共産派果は中國人が同 を知恋せる共産派果は中國人が同 を知恋せる共産派果は中國人が同 を知恋せる共産派果は中國人が同 らんとする彩那学順哉の炭車ニーの如きもの)に乗り坑外にあ NAH) 院中央分館に收容萬全の手書を加力調査中である、人命以外の損害を加強を開発してある。人命以外の損害を対して、一般の対し、一般の対し、一般の対し、一般の対し、一般の対し、一般の対し、一般の対し、一般の対し、

外傷者は

方を依頼したと 前田巡査に見舞金

華騰澤正男君栗原商工別となり、込みに過ぎなかったが

経典版なく實行決定 発用に配付した

實行決定宣傳が

スターを

政党並に實行方法」其の他に付臨

宣成ピラを配布すると共に最良いって之れが戦略に大敵となって居

て出愛準備を整へて置くと、尚今十日法庫門行自動車で先發隊とし十日法庫門行自動車で先發隊として出ている。

背及地旅商

買收終る

緊縮會支部

貌子窩

宣傳文を配付

役員會

九日夫れる、歌付を了した たて決定せる實行項目の宣傳文は 於て決定せる實行項目の宣傳文は 於て決定せる實行項目の宣傳文は

り献金宝繭店、網展商店

(株) 大田午前十時より公學堂に於て開 を三ケ年間職行し関係。 を一方理目としてが、 を三ケ年間職行し関係。 を一方理目としてが、 を一方理目としてが、 を一方理目としてが、 を一方理目としてが、 を一方理目としてが、 を一方理目としてが、 を一方で、 としてが、 を一方で、 としてが、 を一方で、 としてが、 を一方で、 としてが、 を一方で、 を一方で、 としてが、 を一方で、 としてが、 を一方で、 としてが、 を一方で、 としてが、 を一方で、 としてが、 を一方で、 としてが、 を一方で、 として、 を一方で、 を一方で、 を一方で、 を一方で、 を一方で、 として、 を一方で、 を一方で を一方で、 を一方で を一方で

たて見童の學談會を開催すること は米月八日午前十時より同講堂に は米月八日午前十時より同講堂に

甲科生選拔試驗 當學務 課員の警察官練習所甲科生選拔試 課員の警察官練習所甲科生選拔試 課員の警察官練習所甲科生選拔試 課員の警察官練習所甲科生選拔試

總て支那・

共産黨の計畫説もある

大山南坑椿事續報

油問屋、鑑覧省二(産)が適用の登然館支店に宿泊せる安東大和通監 へてゐる 大官屯に現はる

金全部を顕彰逃走した。 を全部を顕彰逃走した。 の支那町振興衛第一商場附近より。 の支那町振興衛第一商場附近より。 の支那町振興衛第一商場附近より。

十五圖を政府に献納万申出たるに一部長宛復陳貯蓄債労額配金一百三部長宛復陳貯蓄債労額配金一百三

まるで謹慎デ

山菓子及 数減席上新

の家庭生活の合理化を期すの家庭生活の合理化を期すの家庭生活の合理化を期す

●服装の改善 洋服は成るペく平 ●服一式にて湾ませ特に婦人の ・服装は質素を旨とすること ・一般な質素を目とすること ・一切にできませ時に婦人の があること

▲物價の研究、家庭に於ては常に ・ 本物價の比較研究に努むること ・ 大成るべく現金にすること日用品 は成るべく現金にすること日用品 は成るべく現金にすること日用品 は成るべく現金にすること日用品 は成るべく現金にすること日用品 は成るべく現金にすること日用品 ・ では現金愛に對し相當の割引 ・ を爲すこと ・ の規約貯金又は月掛貯金を陥行 すること

べく大戦とし決定したのは

本時間の禁軍▲宴會、瞬答、婚禮、凝議、服裝の改善▲家庭に
於ける刺除時間の利用▲豫算生
活の實行▲財響の助行
・場響・場響・場響・場響・場響・場響・場響・場響・場響・場響・

十一日出發す

等であった、此の外全満一齊に十

る。 一個常り二百瓩の素 一個常り二百瓩の素 一個常り二百瓩の素 一個常り二百瓩の素 と共に盧底より吹入れ と共に盧底よりで入れ

一時より多数出席の上開催された。 で見受けられた、『彼いて城内方 では十一日城内俱樂部に於て午後 では十一日城内俱樂部に於て午後 達の顔には國戦数

來る廿日頃創業式

苦心を語る長谷川工場長

乾餾筒に送

福長は悪る 場長は悪る 一體無順次層の直上には約五十一 で試験して見たボーリングコアーを資料として油母真岩の含油量を調査の危多數のボートリングを 下した際得たボーリングコアーを資料として油母真岩の含油量を調査したる結果、地表に近きを調査して見たが、同式はどうるべく一九二四年スコッランドで試験して見たが、同式はどうるで、1場違認費底に依めたい上工要的に撫順に依めたい上工要的に撫順に依めたい上工要的に撫順にして乾燥にないで、工場建設費底

一、家庭作業の獎勵 ・ 雑誌繪本類の選擇並に制限 ・ 、家庭における贈客品は學用品

節約デーを押して戦便

場

全く竣工した

設計者である長谷順工熟乾餾渋の愛明者であり同工場の

村一週間以内に競手し六十日以内 質原魁に紫札した御取販期間は漆 郷泉金三千七百五十圓にて大連伊 は果金三千七百五十圓にて大連伊 に完了すると 瓦

經濟緊縮

二十里臺驛で 件及び第三項贈答の改善に於て祝 ・ 放て招集されたが、先づ美富り當 ・ 放して實行に入るべき細目十ケ ・ 放しまれた第一項の時間 100 での ・ は、これだ第一項の時間 100 での ・ は、これだ。 は九日午後二時より地方事物所には九日午後二時より地方事物所に 於て揺集されたが、生

(上) 第八天均左

孫然是三二四六卷

大連市馆處町三九(日三丁回

銀いて岩間盤也氏、堀内正郎氏、三浦壁造氏等交々起つて郷湾螺碗の必要、郷生思想概念、貯金寒隙の必要、郷生思想概念、貯金寒隙の必要、郷土思想概念、貯金寒隙の必要など、

粉碎さる 房店

開原縣公安局長尹捷鄉氏は最近極 なる訴訟等性の言葉の下に開原縣 がなる訴訟等性の下に開原縣 すべく着々進行しつよありと 一、目的 事ら輕微なる訴訟事件 を許騰圓確解決す を許騰圓確解決す る印刷物を配付せる等非常に有益なる合合であった 會を組織部議 山田氏の献金 原 緊縮節約デー第一日 除家兵の見學 開原守備 前九時廿五分靈列車にて奈良縣長 前九時廿五分靈列車にて奈良縣長 以下四十二名出發せるが十二日歸 破の豫定なりと 金二十圓を送附し來たので當地方 高國取人後援輸補洲支部より見舞 金二十圓を送附し來たので當地方

二名の辻强盗

地下

▲國島四郎氏(金州民政支署視學) ◆村山増雄氏(内外和上海工場長) 新任赴任の為八日午前十一時中 家族同伴離金

●一四九二十二 〇一四六日 九 ●一四九二十二 〇一四六日 九 一四九二十二 〇一四六日 九

...

五四四

一七三

八八八

〇一四四八十一七

豐富

12

節約デ

初日

車の停車し居るを發見最善の方法透眺せしめたるに、前記二五五列

谷田部久平氏 富城福苗

間際に於て同じく瓦房店所屬機関 上で選補機構方式十嵐政男前田喜 での乗込める第六十一列車は追尾 か信號ある為め進行したるものな か信號ある為のにて、常時右列車は安 の乗込める第六十一列車は追尾

日二萬五千噸湧出

工業問題は解決

中一月十日より三日間の節約デーナー月十日より三日間の節約デールには當地では本部より配布されたには當地では本部より配布された所感ビラ約十四百枚を置長より配布された所象・保険、郵便平金の利用製廠の意味の書かれた映画の意味の書かれた映画の第一便で郵便配差人の手を上りません。

を以てブレッキを使用したるよっならば殆ど蓋や事件と同様の事故ではなかったなし何等の注意せなかったないでである。

により公安隊出動せるも例によつて手懸かりなし 檢討支那創刊前經體青

水州消費試しと

の解決の緒口は見出された認であ 最も離脱壁とされて居る工業問題とされて居る工業問題とされて居る工業問題とされて居る工業問題とされて居る工業問題とされて居る工業問題とされて居る工業問題とされた認であ

守備隊演習

献金申出

町あるが今回左訴諸氏の申駆の時局に鑑みぼっく一献

吊慰金 電影会

完全に地下水の湧水量を測で

經濟緊縮 實行着手 0 職後者は六千順(最も完全

經濟の緊縮は

全なる施一

る

◆金千圓五屬寺西夫人▲金五圓昭◆金千圓五屬寺西夫人▲金五圓昭★金千圓五屬時★金十圓五屬時★金十四五國時★金十四五國時★金十

先づ臺所から

して有名匿名の篤志献金 州に於ても融には國債権 所に於ても融には國債権 を終した。 設立を見て之たが普及 又滿洲公私經濟緊縮委員會

緊縮氣分は

本 店 中 英所

電話番號 西 部 [9324 營業所 [9601

大日同場内に水彩品联合並に農事大日同場内に水彩品联合並に で各方面に向け案内狀を襲したが、昨今各地より其の間品物及び 健康其等多數の發表品がどしど 原見農其等多數の發表品がどしど の見とはなってある、例に同会順序を という。 の如し 一、問會午後一時 二、水稻品評會質胱授 三、場內巡覽 三、場內巡覽 五、隋會散會(以上) 會買账提與式

大タクの

係者も相當多数に上ろ筈であると問支那人側の出品者其他各農院開

責任無効返金藥 (是用內服物なき時は)

妊娠を望む方は用がず 男女両用

| 特約に募集| | 見本及美しき調入小冊は

こりがは別所が襲

の評好大

主婦會盛况を極む まる八日闕東軍經理部大石橋派出 窓口醫院體館取 豊勝銭工事入札は 逢阪町 {5502 支 店 {6557

老低时。4515 英區 17841 山縣頭 17841 山張所 18935 星張所 19121 出張所 29 旅 解 523

醫院舊館取毀 窓、東電表 九日は原天北風 一般大北風 一般 一人なりしが十日朝途に 水稻品評會 岳城

落花生出盛 來る十六日



既製品ト談品(カタログ進星生徒製作品質費費

各地有名薬店にあり 舎資オソン商會

用は禁煙に絕對的有効 定

急務であります オゾンと香味の合成作 禁煙斷行 -7 普通丸形一組一圓一圓半 二圓三圓以上十圓迄マド ロス七個五十銭と三個半

喫煙代用 緊縮ご保健の為に 最 新 式 調節裝置附 Mr.

三四五字 六

夫

四町中町 高

肺

唯二氏

伊藤、宮内、海井戸、小林)(州・原徽左の如し) 支人多數から 金を捲き上ぐ

は役員會を開きを討議した 馬車々體檢査を開始した率天署では九日から附屬地内の荷

後二時半頃に名の支那人が表戸の市内霞町四番地徐仁鷺方に八日午 ない

日

献金申出相踵ぐ 哈 爾 實

紳士淑女が匿名で

(日曜火)

てば火診するから」と稱しそのます六元を受取つて「また五日位經

作方を陥ました後になって葵は

九日午後松島町四番地先に徘徊したので率天署では八方に手瞰中出たので率天署では八方に手瞰中出たので率天署では八方に手瞰中

でスドワヤ海の一角中島商店、機 でスドワヤ海の一角中島商店、機 まで行ったが、最近談土地を正確 なし交渉の代表者たる中島商店で なし交渉の代表者たる中島商店で と、一部さらした買收に飛送、 を、一部さらした買收に飛送、 と、一部さらした買收に飛送、 を、一部さらした買收に飛送、 を、一部さらした買收に飛送、 を、一方でとした買收に飛送、 を、であるらしいが監修の話は関かぬ に発送した買收に飛送する。 をはあるらしいが監修に発送する。 をはまるらしいが監修に発送する。 をはまるらしいが監修に発送する。 をはまるらしいが監修に発送する。 をはまるらしいが監修に発送する。 をはまるらしいが監修に発送する。 をはまるらしいが監修に発送する。 をはまるらしいが監修しまする。 をはまるらしいが監修に発送する。

陸橋月末竣工

市政局參事會が

廣告稅徵收可決

日本側の同意疑問

も犯罪摩山の見込で 最高子巡警局に巡響 押へられた、尚ほ羅 押へられた、尚ほ羅 押へられた、尚ほ羅 の見より依託され の見込で

靈山堂

東京市薩布區護町サー番地

振替東京四六〇七

支店

二五 振到大阪

强重

(五)

機束廳等務局長は十日午後急機束廳等務局長は十日午後急

▲個入戰(十射).一等小川(塞天) (九中)二等海井戸(塞天)(入中) (九中)二等海井戸(塞天)(入中)

率大道場柔道、劍道兩部では斯道 等大の聯合稽古」と定め来る十三 年の水曜日を第一回として大々的 に稽古を試みることになつたが場 時半から開始の筈で多製の出席を 時半から開始の筈で多製の出席を

闘し種々打合せをなす處があつた地方事務所に於て開催され區制に率天區長會議は十日午後五時から 会の開夜式を攀行した 午頭十時からこの程竣工せる新校

闘する括合せをなす處あつた人大會の幹部會が開催され時局に人大會の幹部會が開催され時局に

小學武道練習

り來年三月下旬まで武道練習を實 り來年三月下旬まで武道練習を實 ため鬱燥正跳の一部を営て太月よ ため鬱燥正跳の一部を営て太月よ

女二、八六三人合計六、一三一人 作数一、四四三戸男三、二五八人 所数一、四四三戸男三、二五八人 が山警察署の調査に依る十月末現 邦人戸ロ調べ

户五八人 户五八人 一四户四〇人櫻桃屬一五 大孤山一四户四〇人櫻桃屬一五 立川五四戸一八五人、 同署管内に於ける治線の野人民住前月末に比し約二百名増加、然し

四

を申出で赤臓溢れる人々の氏名は九日午前中途に奉天署に國庫献金

百

九日午前中迄

0

先して緊縮委員會を開催すること 地球のルビンに於ても八木總領事 地球の地ビンに於ても八木總領事 地球を負責を開催すること

四

献金申山

手段により詐欺に掛つたものが多 では奉天はが一般治療各地でもこの では奉天はが一般治療を自己し たのでは緩緩に取職中であるが此 でのでは緩緩に取職中であるが此 が、自己し

ンにも續々献金者が現はれて來たさい」と顧出た奇特の人あり、傑

緊縮實行計畫

本月末までには開通するに至るでの鞍山驛オーバーブリッチは豊夜の鞍山驛オーバーブリッチは豊夜

主

神にリウマチス

肩腰のコリ

胸に過ぎり 咽の等の 痛なみ

筋変乳を肉をののコ

痛なり

團體戰で奉天側勝ち 個人も奉天の小川氏に榮冠 市内某寫實館技師伊田、岡部(假名)外一名の三名は十日未明酩酊の上サクラカフェーに來りそこでもピールを飲んでいざ勘定となるなどの暴行を働き始末に終へので遂に係官の厄介となつた 大會 九日午後四時頃春日町八番地居堂車とが衝突し自轉車の一部を破壊車とが衝突し自轉車の一部を破壊したがその被害額は半額兩者で負したがその被害額は半額兩者で負したがその被害額は半額兩者で負したがその被害額は半額兩者で負 申込んで來た

奉

関サーを年分は七十七緒

月により其の微税率

七銭から五元

濱江雜爼

十日無順へ十日朝 北邊防海軍司令)九 東鐵を調査した、支那式豹螻である に反對してみたが、南京に歸逆し に放對してみたが、南京に歸逆し にからマンテル氏の設は根據があ が、南京に歸逆し

以で迎へられるこれが邪激でない。 一新中華王國を建設しやうと奔走 してゐると支那紙は報じてゐる、 慈善事業も支那では一種の懐疑を とである。 を表現れば報じてゐる。 を表現れる。 とでない。 といるい。 といる。 といるい。 といる。 といるい。 といる。 とい。 といる。 とい。 といる。 とい。 **別心と云ふものだと** 慈善事業も支那では一

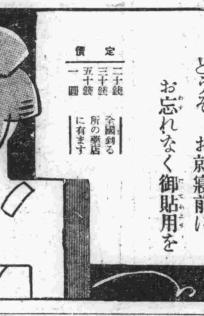
出所を眺べるとコレはしたり「ア 地流スタ」とか云ふ通信の宣傳の お先線〜東線の更部線が不適で派を 深つである外商筋が其の裏館で派を ユースの出所が不鮮明であるだけ 型造記事も数字を並べ簡條書にす であるとあるへルピンはニ

▲東鐵は五月から約一千萬元

用は血液の循環旺盛によって 國か悪げて緊縮節約の今日 最も有意義なる緊縮 妙布」の必要が起つて必ります 能率の増進からし

臓の運動を観活にするので わづか一夜の貼用に することであります。最も簡單なる健康法は何か よつて美事に疲勞を一掃して元氣を回復いたしま の病勢はその日の中に一掃することで、姓に於て 方策は 健康の確保によって十二分の能率を増進した。 けんか では と申しますと、疲勞を蓄積しないこと、即ち其日 即ち其日の疲勞を其日の中に一掃する 梅勢の結果生ず 『妙布』の作

どうぞ お忘れなく御貼用を お就寝前に



先っ健康の確保と は 婦 良,

產科婦人科諸博士推獎

子宮病 血の道 の御婦人は常に頭痛や眩暈

價 定

州二十六二 五十三日日 日日日 知分分分分

伍參貳登五

元元元元角

早く中將湯で真の健康を恢復せられよ 實に不愉快な恐しいこしけも子宮が悪いためです がし鬱々として氣分が晴れません、月經不順も、

次の症状の方は直ぐに召上れ



健康から 健康な母體からは健康な子供 七五二人の樂しさも母體の

温き血潮の漲る健康を齎らす 中將湯は能く婦人諸症を征服

中將湯の常用は 朝夕に御覧行下さい 強人の強健にして 惱ましい 婦人の強健にして 惱ましい 婦人の

愛用を

居くし1生婦人の惱みの種です。 主婦の健康から、子宮病血の道 主婦の健康から、子宮病血の道

に寒さは

一寸の油断から冷込んで婦人病に婦人の大敵で寒さに向ふこれからは ものです。

せ ず

る中將湯を御常用あれ 婦人樂の權威其の名も今や世界的な しい婦人の不快なし根本的に身體を

ピョンコくよ 能が一羽二羽

す

坂口敏郎

しつぼを そろえて

の間もお母さんは化石した人の機 に身動きもしないでるみ子をみつ 3

豪所で氷を割る音が聞えました の音の爲にさまされました。 るみ子の風に取られてゐた心がそ るみ子の意識はその間も只おも パッと とんがれて ピョンコくよ 調子を そろえて ピョンコくよ 電が五初大羽 ピョンコくよの について私の感じたま」を書いて

学是

血の氣の矢せた頬をみつめたが

(E军火

したの暴風雨になる事を考へる

お母さんも同じ事を考へてみ

めてるます。

計 1等三十圓、11等二十圓、三等十圓

一等十圓、二等五圓、三等三圓

のはるみ子にとつて

も、お母さん

とつても之以上の気なぐさめは

でいっ、それから戦に頭に建ってかちかち山」三年三全豪あき しいっ、それから戦に見に建ったのシーンがすっかり気に入った ながらの鬼のしぐさも追索 といっ、それから戦に現に建っ

習解

(なしの血腫が) 大伍 (ないの血腫が) 地田 玉田

調遍極

まアまア黄色いあの歯の色がまてまてまりません。 使ったお方は一方ならず

そこで先づ例によって単校職だけ

現してゐたのもよかつた。 お爺 ▼童話の願募はどなたでも差支へありません
 ▼童話の願募はどなたでも差支へありません
 ▼字體は明瞭に書くこと
 ▼子體は明瞭に書くこと
 ▼上野石はどをなった。

調した焦茶色の荷で左右を強ったのも落ちつきがあつてよく繰り紙手でないグリーンのカーテンも周がといってある。それか野との調和を除つてゐる。それか 少からず効果的であった。 はお祭の屋豪を見るやりな安つぼ魔を示してゐた。昨年のステージ イトを使はず艦覧に普通の電燈でら昨年のやらな無理なスポットラ を感じさせられたが、本年は新

仲のよさ

風にゆられて

ピョンコくよ 能が三羽四羽

あたまを そろえて

ニーズ・モボ・モガが潤地する。 まだ緑色をしたアカシャを植られ無言で飛ぶっ 本兵管を縁聴する。
・市街見物に出掛ける。先づ日 食堂やお風呂場炊事場も案内され ▽童謠は自分の學校名と學年を書き添へて下さい

る、その有難さをしみらく感謝し 代頭であった。 異國に來ても我々を保護してドさいな鍛炼網等は見せていたどいた て先年の濟南事變の時に用ひたと 暗くなった町を通って宿に中の兵棚もとつさり買ひし 云ふし、森林のお菓子等を見受けとの店の商品の七鵬は日本観だと 二時間の後には皆大小さ たのは何だか誇らしく思 包みをかるへて集る。二 立つ。皆船中の無事を耐 丸時過ぎ神明高女の方達 ながらトラックに乗つて 日間の船

そんなに苦しいか

あ

+

嬉しい自由買物に

おみやげをどつさり 五年生 小 松 美

子

天津のみは殆ど洋化された瀟洒な那無分磯厚な北平にひきかへて?

つて黒白の指揮棒を上げる。 四比々々に立つた交通巡査は無収

塵埃に、難然として未だ支

の市街

単美なケープを着た際髪のマダム

五

感ずることである。

四

百

考へるのは堪らなく不安でしたか

そしてなるみ子もはつきりと

は電氣に打たれた人の線に立ち上

るみ子のかすかな際にお母さん

とんだま

彌生高女北支那旅行記——《

モボ・モガの濶歩する

急に變つたるみ子の容體の事を

「母さん」

言ふのは、お母さんは夕方か

なかったのです。

おすら思い秋の夜風に吹からすら思い秋の夜風に吹か ったの

大連松林小學校の児童學器會は九 日午後零時半から同校講堂に於て 日午後零時半から同校講堂に於て 日本後零時半から同校講堂に於て 日本が昨年のに比べるとステー の設備や演技の内容に非常な進 松林小皇 さんの感じを最もよく出してるのお爺さんは簡單な方法でお爺 ▽「正ちやんのお伽幽見物」二年 神 切 十二月五日限り 後送先 満洲日報社編輯局 後送先 満洲日報社編輯局 **尊常三四年程度、一回十五字睛七十行內外三回完了** 新年兒童讀物 懸

て笛を吹いたりするとこ 歌劇である。小さな事業 て來る人物や動物などの したのも数師の細心の注意が現 代るパーステージに出 如何にも二年生あたり はれて嬉しいる から全級の児童を色くで

お母さんは眺つてゐるるみ子の

がりつき

一何か不思議な奇蹟か現はれ

(A)

「糸を割つてゐるのよ」

るみ子や、

お母さんはこゝにあ

とまった時計

(上)

の音よりも自分の容職の事に気をました。それからは、るみ子は風

とられ勝ちだったのです。が、い

で一杯でした。

オデサンハ

大チャンノ ユピ トニッグ

ハウラ

コド

オギサンノ

サルガ

ナレ

ドジンノコ

セメル

それつきりでみ子は戦つて了ひ

ました。 氷袋が温かく溶けた水

「オヂサン

大チ

to

タンケン

(138

N

チ

惜

9

ラ

ゥ

۴

話。

態変 領れた旅人湾吉は、し

では本氏、影響・こと言ひた ち、小柴楠電兵艦はサマッ と斬込んだ。

!珍!こんな世界があらうか? な簡の葛藤を描いた大傑作 た邪宗門



◇サツと段梯子を蹴返して ◇聞・チョコレートの通り魔 水の流れを見て感激した(活癖の巻) 本の流れを見て感激した(活癖の巻) 「無體の客に迫られた……(妻妓の巻) 女給の卷) 公優の巻)

印

シ並ニ玩具

一長谷川

関子の裏い企み ない。

職諸機闘を売らしまく で發育し、蕃殖し、 炯晶は素晴らしい勢い



を願はす、これが豫防



Ū 世界一の組養職除薬(専責特許 フラゼリー語 一部

電話 六四一〇番 根 眼

科

院

店にあり

#第一計算—鑑定 宗像建築事務所 Inter-宗像主一建築 設計—監督 宗像建築事務所 Inter-宗像主一

店なども散けられるやうに出来て居り大體に於て三越其他の百貨店と同様の感じを懸へるだらう以上に常品鑑賞、吳服類其他を陳列し食堂幸をも設け屋上は夏季中級凉ルーフとして氷店、喫茶来る十日電飯を移標する筈である、新建物は七陸速で地下記は魚獣肉類、野菜、食料品等、二階、四条配町に新築中の補銀消費組合は此程竣成月下内部選作中であるが、既に深ど出来上つたので西条配町に新築中の補銀消費組合は此程竣成月下内部選作中であるが、既に深と出来上つたので

移轉する消費ビル

を以て補細の第

本社編輯局宛送附の事、應暴作は昭和四年十二月五日限、總で「幸

は如何なる理由あるも返戻せず日寄年女襲又は新年気候」と表記し、

=

圓▲寫眞一等五十圓、二等三十圓、三

キャピネ以上、新聞掲載に適するものがは五句以内、編輯局選 一般に一名五首、短詩は三篇、俳

口

安東大和校で

恒例により昭和五年新春紙上を飾るべき文藝作品及設計から募集します、左記規定により應募を希望を驚小説 - 第十五字語百五十行、一名 - 第以内、編輯局選和歌、俳句、短詩、川柳 新年購級、和歌は一名編輯局選 - 真 和歌、俳句、短詩、川柳 新年購級、和歌は一名編輯局選 - 第二人 -

り應募を希望します

受く夜半も只君國

龍めた

『名古屋十一日發電』昨年九月以来ギロチン劇の一脈が名古屋に潜入し各方面の客景を恐鳴してゐる

数の列職あり開富に先だち手島被験を持ち、大津安東守備隊長、大津地交職長その他多級があり開富に先だち手島被の列職あり開富に先だち手島被の列職あり開富に先だち手島被の列職あり開富に先だち手島被の列職を持ち

位の御希望

、フランケ

御待ち致し

「ロスアンゼルス九 持主で百萬長者ア

百萬長者夫婦御難

P

團逮捕

名古屋に潜入し脅迫

高、は、 ・中してあた双腰九寸が至一尺二寸 ・中してあた双腰九寸が至一尺二寸 ・中してあた双腰九寸が至一尺二寸 ・中してあた双腰九寸が至一尺二寸 ・中は電視を資ふた。一時は ・中は ・中は ・中は ・中は ・中は ・中は ・一時は ・一時は

を鑑められ無邪氣なる生徒の真心 と鑑めた今日の催しに一同威謝し、 の かいま入って居た、最後に手島

長の挨拶あり曾はプログラムの順

億川喜久子姫

宝が終って守備兵全部起立し「獨 ・生徒高等科二年女子高田タョ子嬢 ・生徒高等科二年女子高田タョ子嬢

シフランシスコ納領事などの

埠頭の

電二二三七

の禁錮の判決を受け

「オペラ浪子」の演奏 本に向ふと(寫眞は環夫人

母堂と共に西下

婚債を挙げさせられる線川

部の、就景色を賞美の上層京 ・ 主の説明を贈かせられ ・ 東東京戦器御代の

胸帯分の差で二着となり二東京での神宮競技大會で百

高見孃講演

日本の苦力態の経典が単連に を成とするのを抗熱等。中の水上 を成とするのを抗熱等。中の水上 を成れとするのを抗熱等。中の水上 を放射が發見直ちに本器に連行身 を対してところ懐中より質。 を対して、大きないで可決に は、二十餘枚規ばれ出たので可決に は、二十餘枚規ばれ出たので可決に で同決に

『東京九日發電』 電領極東

日華紡績職工

四千名總罷業

賃銀一割増を要求

公安局臨時戒嚴令を布く

服山、愛媛、院島各府縣の富蒙者 つてゐる。其後の輸出は逐年激増 つてゐる。其後の輸出は逐年激増 を續け昨年以來全國中密批の主産 を續け昨年以來全國中密批の主産

は之が輸出仕向地として同地方は

第廿囘學生雄辯大會

は合としてこの取りに営る。 は一般米に於けるが如く別されがあるので野家輸出組合。 して野米に於けるが如く別されがあるので野家輸出組合。 以外な良好さを示

大連埠頭にピタリ 次 阿波共同の新造船 姿を

にそのベンキの香ひ高い初々しい日午後四時大連埠頭十九番パース た阿波共同の第三十六共同丸は十かれて神戸川崎浩船所で建造され 弗三十六共同丸十日入港 速力は十四 聖学も出せるといふしなほ千順の貨物を積載 - 得る四等客約千四百人の收容力を有

人、三等五十人及び苦力の一氏である脚、一等客十二人、一等客一路である この船の四等船室には特に電氣扇 いてゐる。同船は数日中に青島航 でしたる。同船は数日中に青島航 でしたる。同船は数日中に青島航 でしたがあったが、同船は数日中に青島航 でしたが、 この船の四等船室には特に電氣扇

年を出でずして職前同樣の市況を 輸出の獎勵に努むな意鵬であると 出も相常旺盛となるべく見られて 政府に於ても難露質易の復活に伴 政府に於ても難露質易の復活に伴 政府に於ても難露質易の復活に伴 政府に於ても難露質易の復活に伴

悲戀の 七年振に歸朝 急に 故郷が戀しくなって

製鋼所問題で

東京十日發電 東京十日報報 東京十日報 東京十日本十日報 東京十日報 東京十日本十日報 東京十日報 東京十日報 東京十日報 東京十日本十日報 東京十日本十日報 東京十日報 東京十日報 が、軍を脱級以下の対応に 環夫人

以下が要

一般態質獎勵委員會を開催すると 一般態質獎勵委員會を開催すると

獎勵委員會満鐵で體育

窃盗犯逮捕

『安東特章十一日髪』前日來常地 山手町方面に於て類々と奨生する に努め搜査の歩を進めてゐたが去。 に努め搜査の歩を進めてゐたが去。

百圓の現品を窃取せしことを自由 中田氏外那人でも町を襲ひ一千動 中田氏外那人でも町を襲ひ一千動

前期 未未排漁業權利緊 機越利益。 計益。 期級 業 權 資 美 權 資 美 權 有 重

型00,000·00 三、七五·00 1、三、七五·00 1、三、七五·00

黄海渤海裕民漁業批 第拾五回營業報告は (全同三年十 (至同三年十 会)

大連市東郷町八四無輪吳近之で

大連市東郷町八四条輪吳近之で

大連市東郷町八四条輪吳近立で

大連市東郷町

の同共波阿たし港入日十九月十九日共六十三第

な投じて頑強に抵抗したるも遂になりて頑強に抵抗したるも遂に

同野札は市内各所の野札で何れも白したが恐らく慣名であらうと間中したが恐らく慣名であらうと間のである。 **五圓から十圓のもので水上署では** リウマチス

密輸者逮捕

新義州稅關吏

格闘のう

遂げ二十一時三十分發南な列車に

器尿梅庸 沙皮 科毒

オ

へラ浪子の演奏を最後に

同校生徒に融宮大會出場の感想を養しなつた高早部子嬢は十二日午養となつた高早部子嬢は十二日午

銀湍

揚 廣 西 西 話 電

小川殖產課長

. 兒幼. 兒乳 幡 程中通車電町洩信市庫大番九五八四話電 曾葬御禮 食道樂 社大社東 總連繳京總親 代支代本代成 北栗大佐 岡田 場 勝 芳精十 芳精

邑策郎

AND IS SAFE-THAT IS 法アリ アイデアルアイデアル ヴェクトヒーター 大連市紀伊町二〇 奉天富士町七 西西關 價 (大連渡) 川川原 商商商 5C ¥175.00 店店店越 RADIATOR COMPANY

BURNS LESS FUEL, GIVES MORE HEAT, SPREADS WARMTH, LOOKS BEAUTIFUL

座補團 フナ 價 1 K



店夜見見九 京東 間本娘石ワッ1〇







新 種 毛皮 洪來盛吳服店 て居りますから何卒御一窓 和 康 八十六二六九番 一覧下さい種掛



(V)

窓

(155)

案内

持藥局

i '4

感花、材料

ばめ飲

238 161 162 844 図